

画報風俗奇譚

第16集

9月号

サド・マゾ・エチ・ホモ特写と絵物語特集

目で見える風俗絵巻・内外古今の貴重文献満載



画報風俗奇譚

第16集・9月号

目で見える風俗絵巻

昭和35年9月15日発行 昭和35年11月17日第2種郵便物認可
通巻18号 毎月1回15日発行 昭和35年8月30日現在発行部数683号

定価 180円

代理部の 新作写真

あなたのコレクションに
新しい企画をおおくりし
ます。座右に備えて、あ
なたの嗜好のために、ぜ
ひともお揃えください。

★女に虐待される男 (略W3)
いずれも(三枚一組)三〇〇円

- ☆首しぼり 3 態 (略D37)
- ☆無残、男責め (略D38)
- ☆縛られた裸男 (略D39)
- ☆禪姿の悦虐境 (略D40)





ムチをもつ女②

(第一グラビア) 縛虐惑悦女の60態

ボロ舟の上で……………	(二二)	縛女のメニュー……………	(二八)
髪も乱れて……………	(二四)	縛女の供物……………	(三〇)
石の階段の縛愁……………	(二六)	縄の悦悶……………	(三三)
不自由な姿態……………	(二八)	荒縄が肌をかむ……………	(三四)
乳ぶさを焼く……………	(三〇)	痛められる女体……………	(三六)
フジの根もとで……………	(三二)	ぬれ縁の縛態……………	(三八)
酒場のスタンドで……………	(三四)	すだれ巻き責め……………	(四〇)
荒縛しばりの女……………	(三六)	タヌキ吊り……………	(四二)
〈モデル〉		島崎 ユカ	西牧えり子
井神せい子	望月まり子	須原 圭子	大江美佐江
		伊集院ふみ	さつきみち

色刷
口絵

お小姓責め

夜のなぐさみ……………	田上 恵子(三)
いけにえ稚児……………	江馬 美久(六)
酒のさかな……………	田上 恵子(四)

第二グラビア

男の別世界

女装を責める……………	(五三)	棒しばりの姿態……………	(六〇)
縛られた女装者……………	(五四)	白壁を背に……………	(六二)
立ち木に縛られて……………	(五六)	足をあげて……………	(六四)
裸でポーズを……………	(五八)	目かくしの世界……………	(六六)
〈モデル〉		牧 悠紀子	霧島茂樹
		南郷次郎	



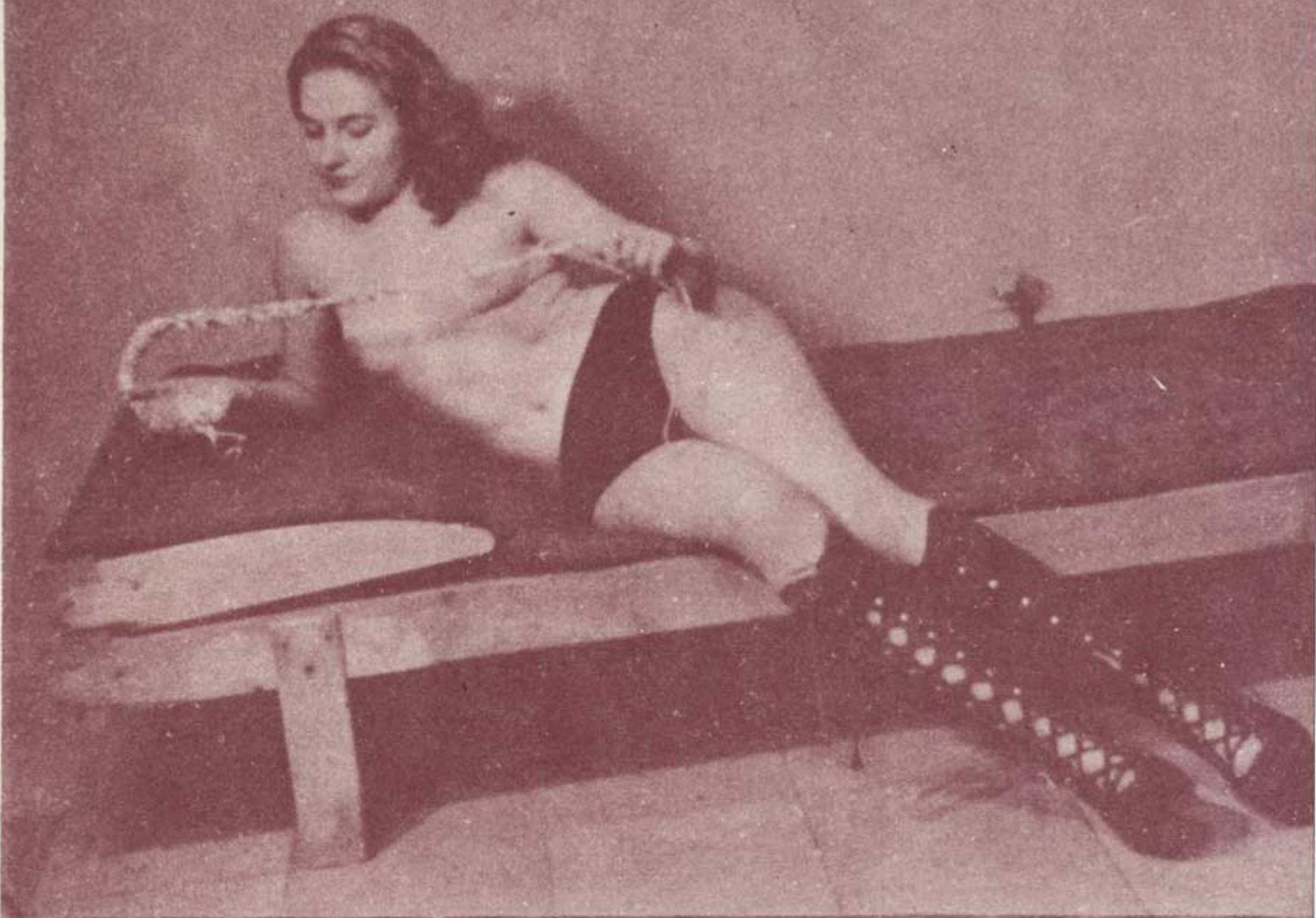
集画 橋責め6景

青空吊り……………	古正英生(五)
両手首吊り……………	田上 恵子(六)
開脚の姿勢……………	江馬 美久(七)
クサリと女……………	エクスプロ社提供(七)
あたしの女装写真集……………	橋本 由美(三)
☆読者の広場……………	(三三)
☆編集だより……………	(三六)
☆代理部ご案内……………	(三八)

特選絵物語集

怪物 教田人形製作所……………	獅々村 裕(七)
女体 虫責めの設計……………	神保与七郎(八)
電気 中指のない男……………	榊原史生(三)
ホモ 浜木綿の咲く季節……………	林 正和(二)
時代 無残いれずみ地獄……………	赤木 恵介(六)
男無残絵帖(新連載)……………	芦立 鋭吉(二)
女狂 ローマで会った女……………	谷 貫太(七)
獣使 インディアンに捕まった三人の女……………	ヌートリクス社提供(八)





ムチをもつ女③

ムチをもつ女に

限らない魅惑を感じる

わたしはマゾヒスト

そのムチで打たれ

そのクツでふまれ

そして陶醉する

わたしはマゾヒスト

縛虐惑悦
女の60態



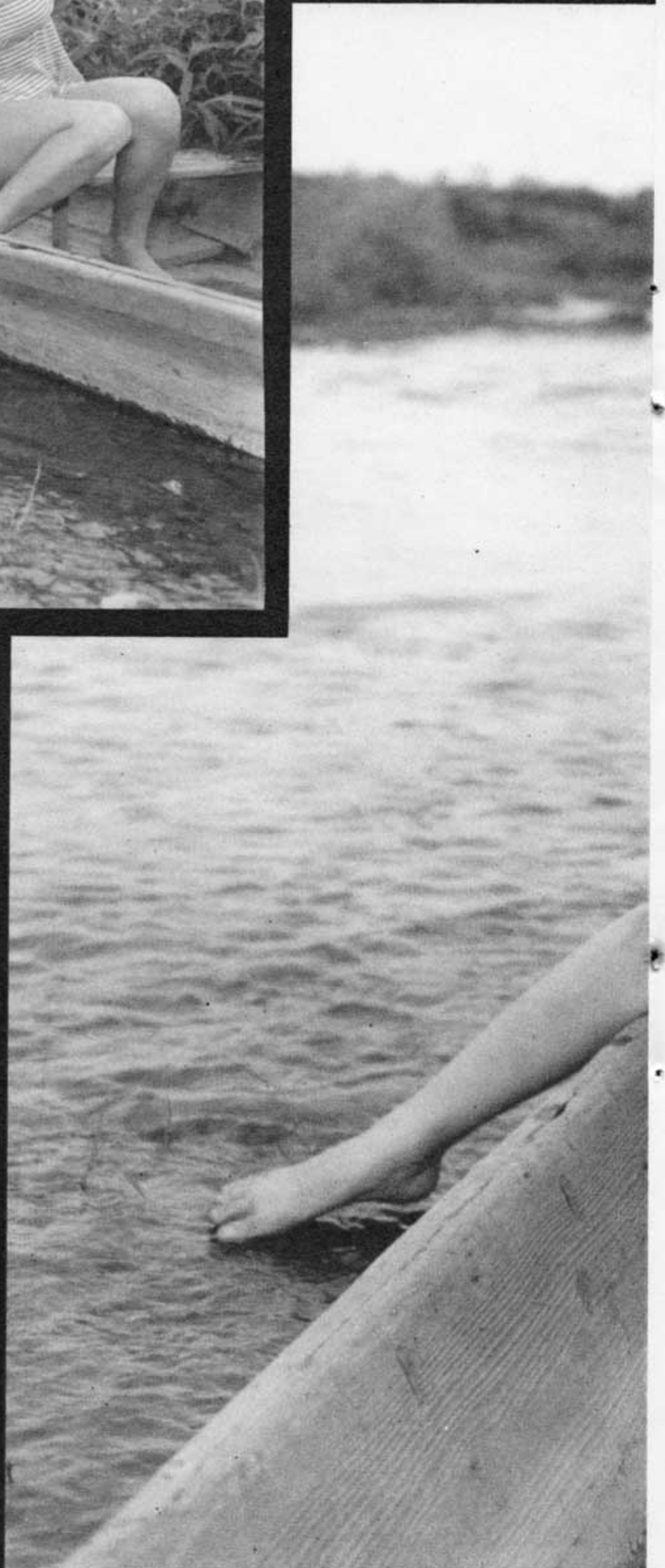
縄が女に魅惑を与え 縄が女の官能をしびれさす 被虐の世界
に火をともすのは だれか 悶悦の境地を招くのは だれか？

の上で

みぎわのボロ舟は いまにも浸水しそうに危うく
縛られた女は さらに危険〈モデル・島崎ユカ〉



ボロ舟







髪も乱れて

黒髪は女のいのち——黒髪が乱れるとき 女体も乱れ 女の
 ころにも波がたつ 縛られて いたぶられて あやしい官
 能が身内を走り 奇妙な感覚が 心の奥をゆさぶる 陶酔が
 潮ざいのように 高くなったり 低くなったり 電流のよう
 に からだのシンをつつ走ったり あるいはまた走馬灯のよ
 うに グルグル回ったり どうしようもないほどに 女の心
 をかき乱す 顔をおおう髪のようにへモデル・西牧えり子

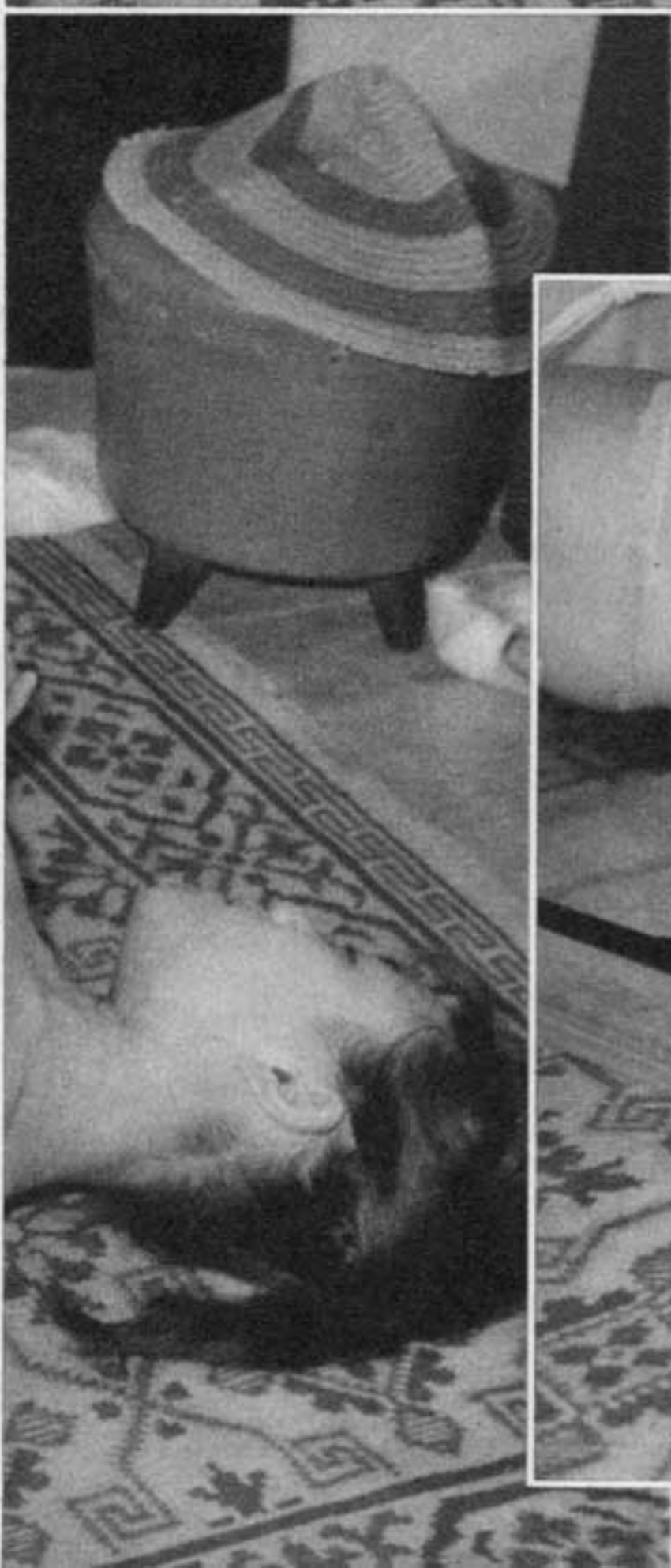


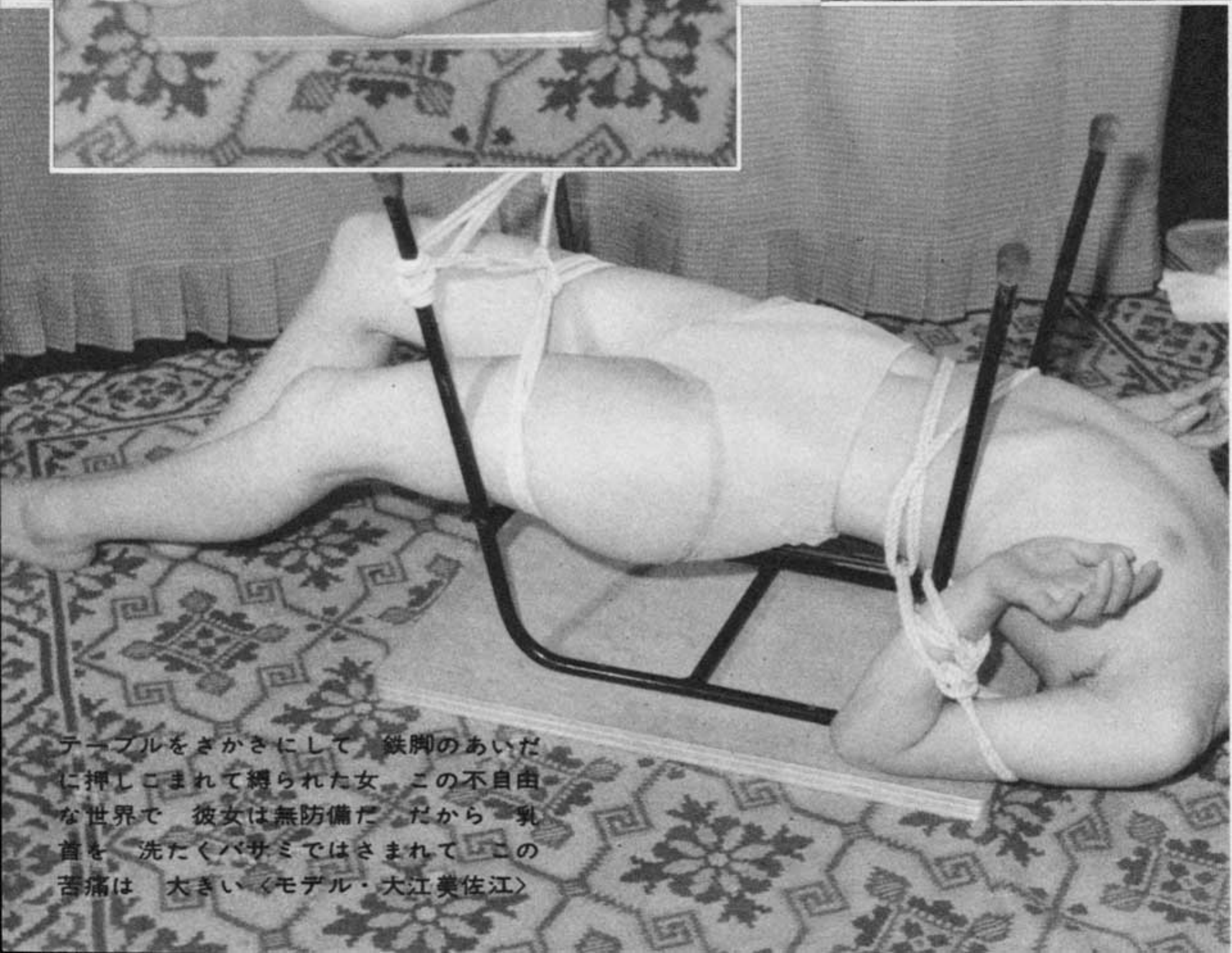


石の階段の縛愁

ひっそりと 縛られた女がひとり 石の階段におかれて
 縄の愁いにひたっている 人けない庭さきの これは 空
 気も動かないひととき そこには 女の肌のおいがただ
 よい 女のいのちの火が 音もなく燃えている じわじわ
 と昇華していくのは 女の心もとなさか それとも 女の
 慕情の せつせつとした心懐なのかへモデル・須原圭子

不自由な姿態





テーブルをさかきにして、鉄脚のあいだに押しこまれて縛られた女。この不自由な世界で、彼女は無防備だ。だから、乳首を、洗たくバサミではさまれて、この苦痛は、大きい。〈モデル・大江美佐江〉

乳ぶさを焼く

束ねたローソクの火が つきつけられた蚊取り線香の火が 乳ぶさを焼くとき チリチリと肌が燃え 肉が燃え 〈モデル・島崎ユカ〉





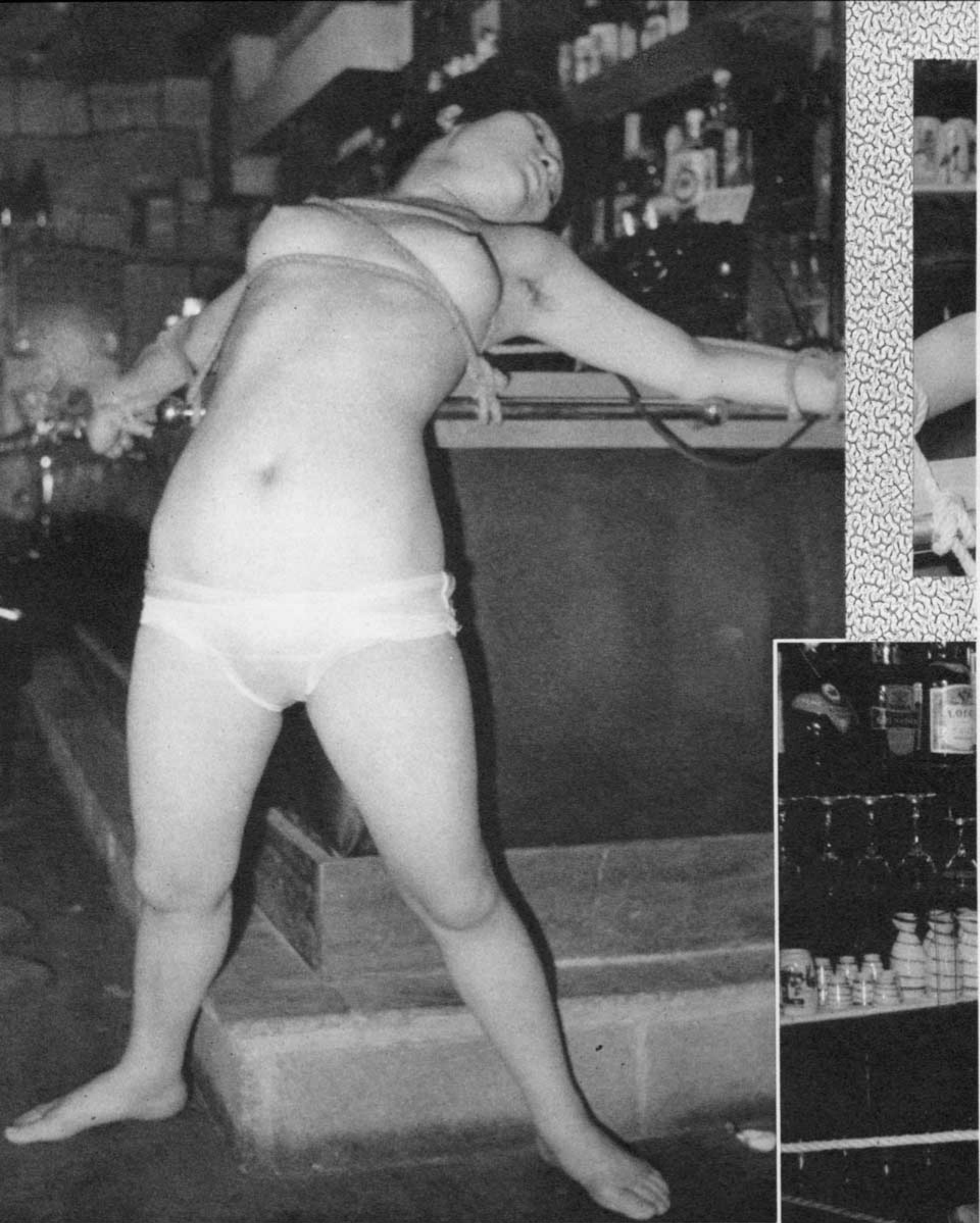


フジの根もとで

フジの古木は 曲がりくねって奇怪な形をしている
その根かたに縛られた女は フジの
精に捧げられたイケニエか 運命の座についた
感じで ひっそりとヘモデル・須原圭子







酒場のスタンドで

酒のサカナにするわけでもあるまいに 裸の女をスタンドにく
くりつけ さてどうしようというのか〈モデル・井神せい子〉

荒縄しばりの女

荒壁の前で 荒縄でギリギリとゆわかれた女が ため息をついている 緊縛の苦痛ゆえか
被虐のつらさが それとも悦悶のうちの 無意識のため息なのかへモデル・望月まり子







縛女のメニューー

洋酒の値段書きのかたわらに縛られた女は いったいいくらなのか 黙って客を待っているへモデル・伊集院ふみ





MENU

トリス	ストレート	60
	ハイボール	80
サントリー	(白)	80
	ハイボール	100
サントリー	(角)	100
	ハイボール	120
シン	ニ	80
シン	フィーズ	150
カクテル		200
ウオッカ		80
ジュー	ス	100
ビール		200
御酒		150

BAR

縛女の供物

おいなりさんのほこらの前で
こればかり
びちびちした裸女のお供え
逃げないよ
うに縄でしばってへモデル・島崎ユカ







縄の悦悶

裸身をグルグル縄られて ころがされた胸に 首をくぐって鉄製の椅子が置かれて じわじわと苦痛を加える むきだしの肌に 汗が吹きだし やがて粒となって流れ落ちる その冷たい感触から 奇妙な感覚がからだにしみとおり 女は 狂おしいばかりの官能に身もだえするへモデル・望月まり子



荒縄が肌をかむ

荒縄が痛々しく 白い肌に食い入り 野原にひとり グッと苦痛を
かみしめる 孤独な そして静かなる緊縛 〈モデル・西牧えり子〉







痛められる女体

縛られた身を 男の足が踏んづける 肌をつかみ 足をねじり 無情のさいなみがつづくとき 呻吟がもれるへモデル・大江美佐江



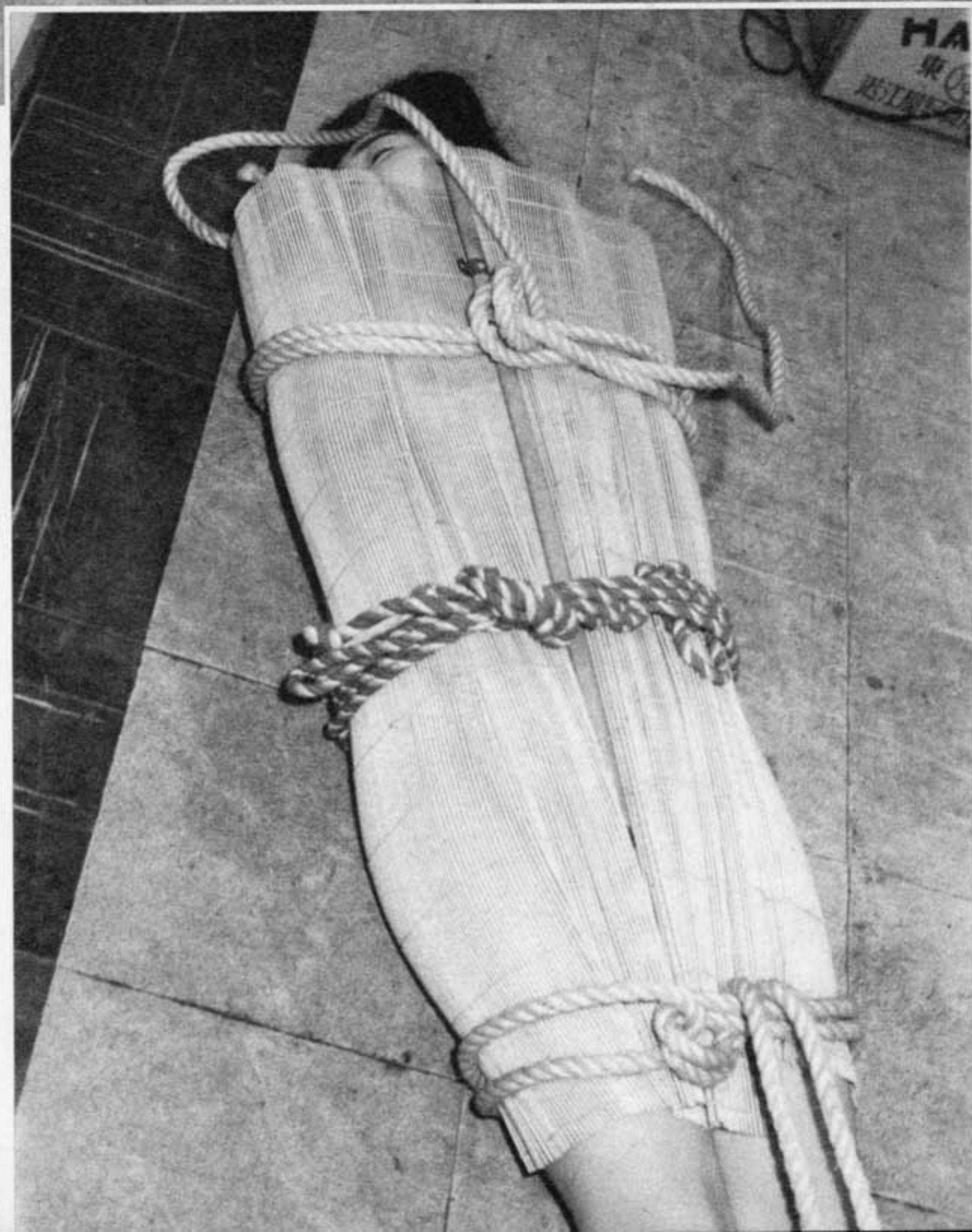
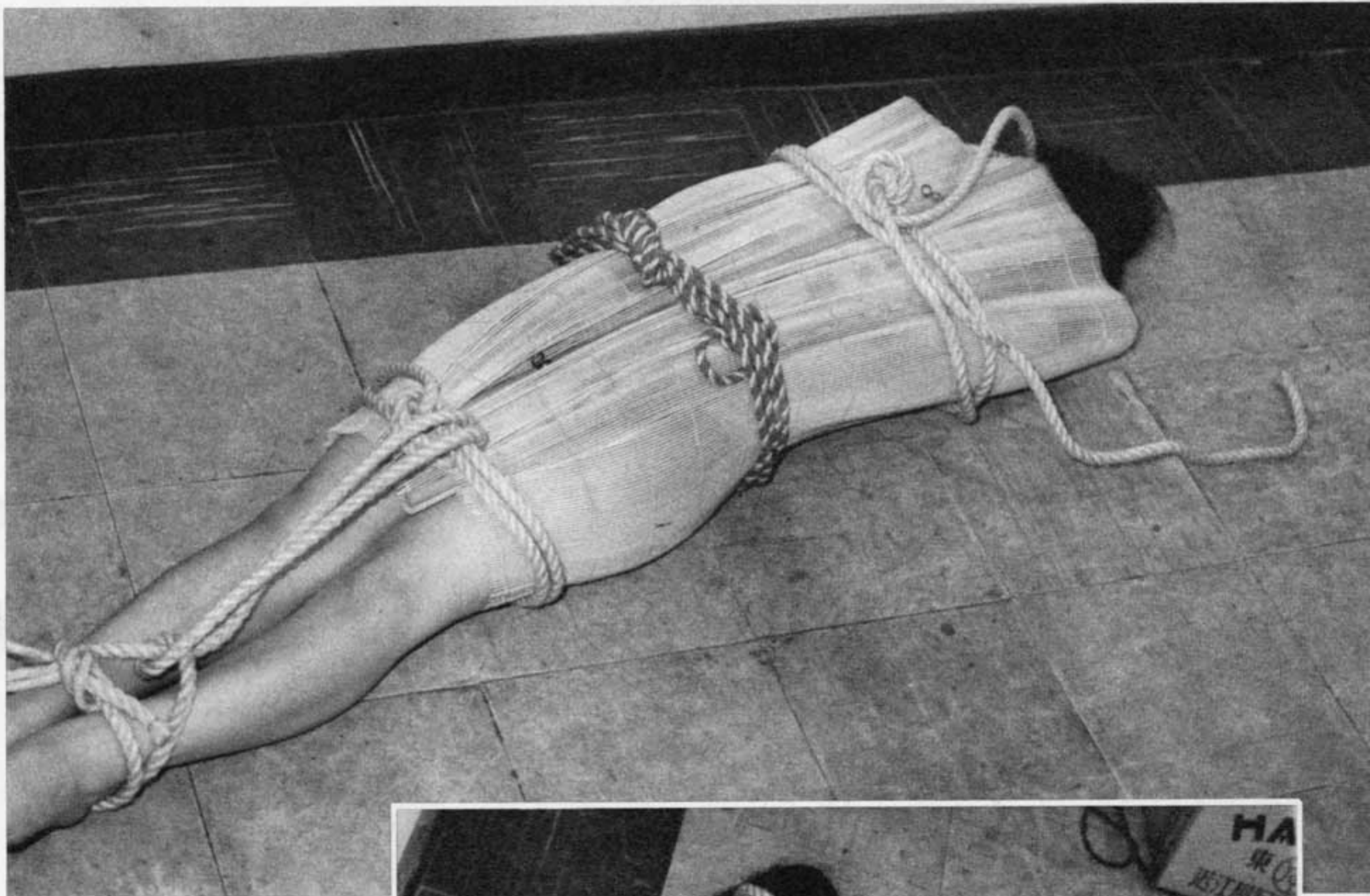




ぬれ縁の縛態

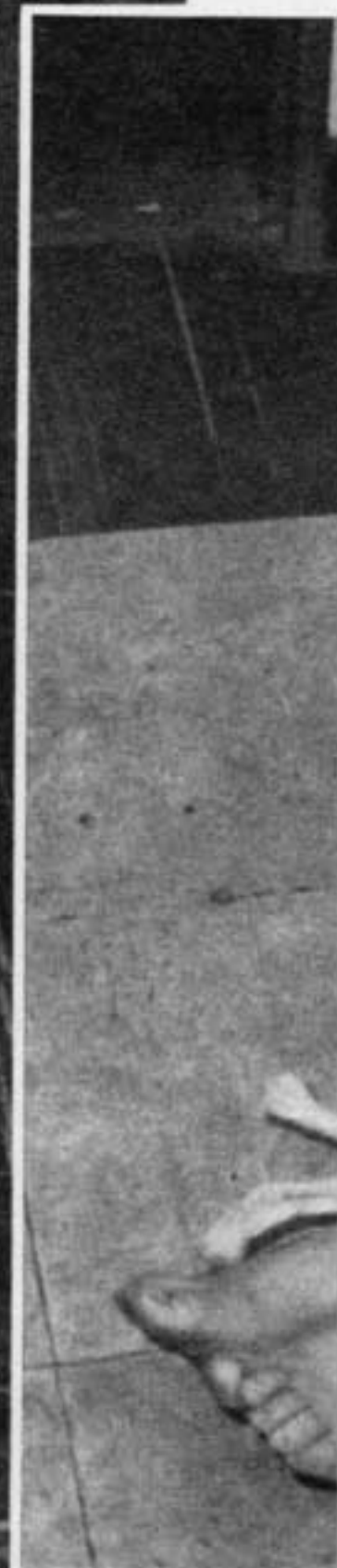
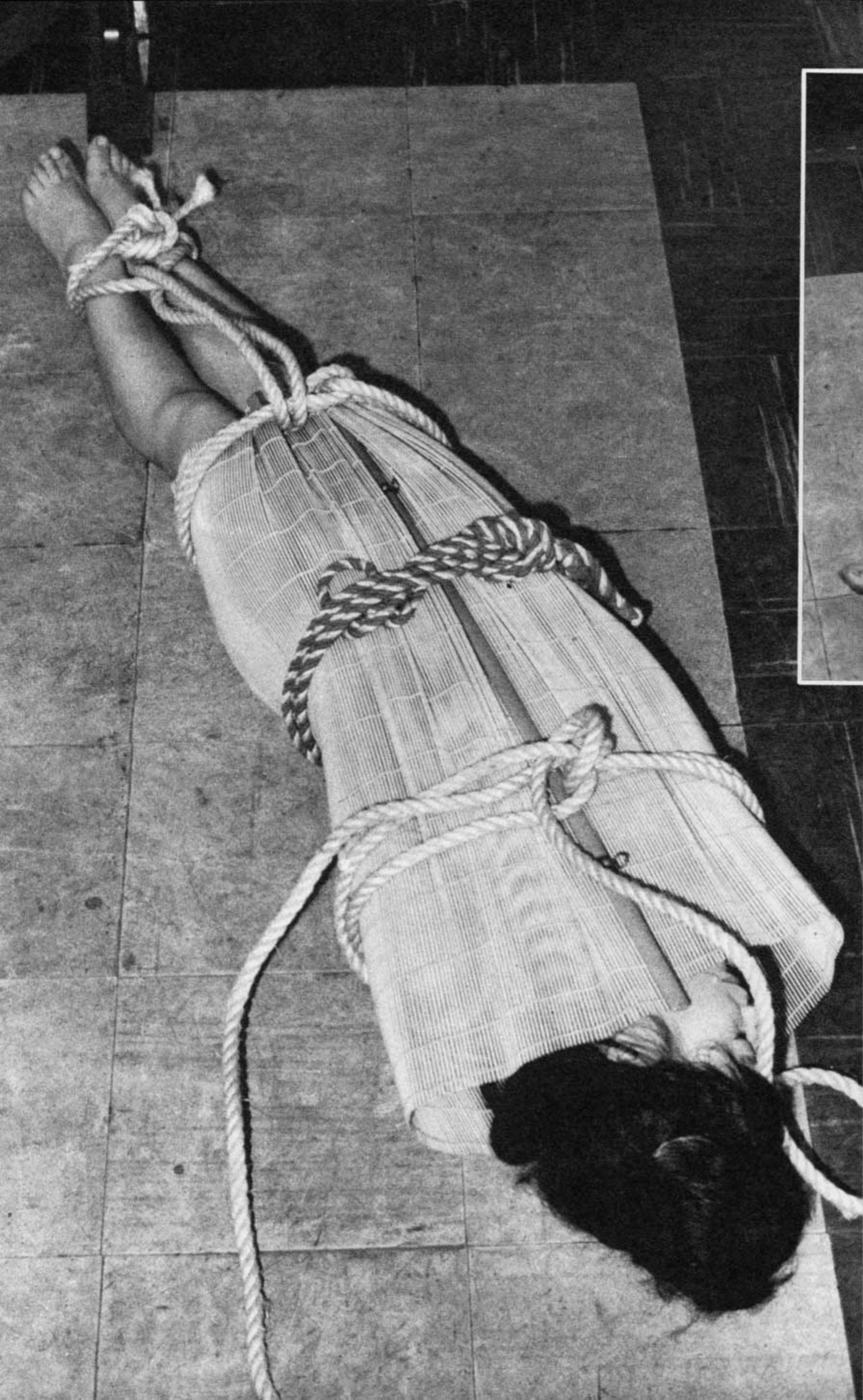
広々とした庭に建てられた一つ家のぬれ縁で ゆかたを乱して女がひとり 縛られたまま とらわれの身を嘆いている 嘆けとてせんなく 救いの手はこない すわったり 長々と寝たり 縄の世界にひたるだけで 女のいのちの不思議さを 思う〈モデル・須原圭子〉

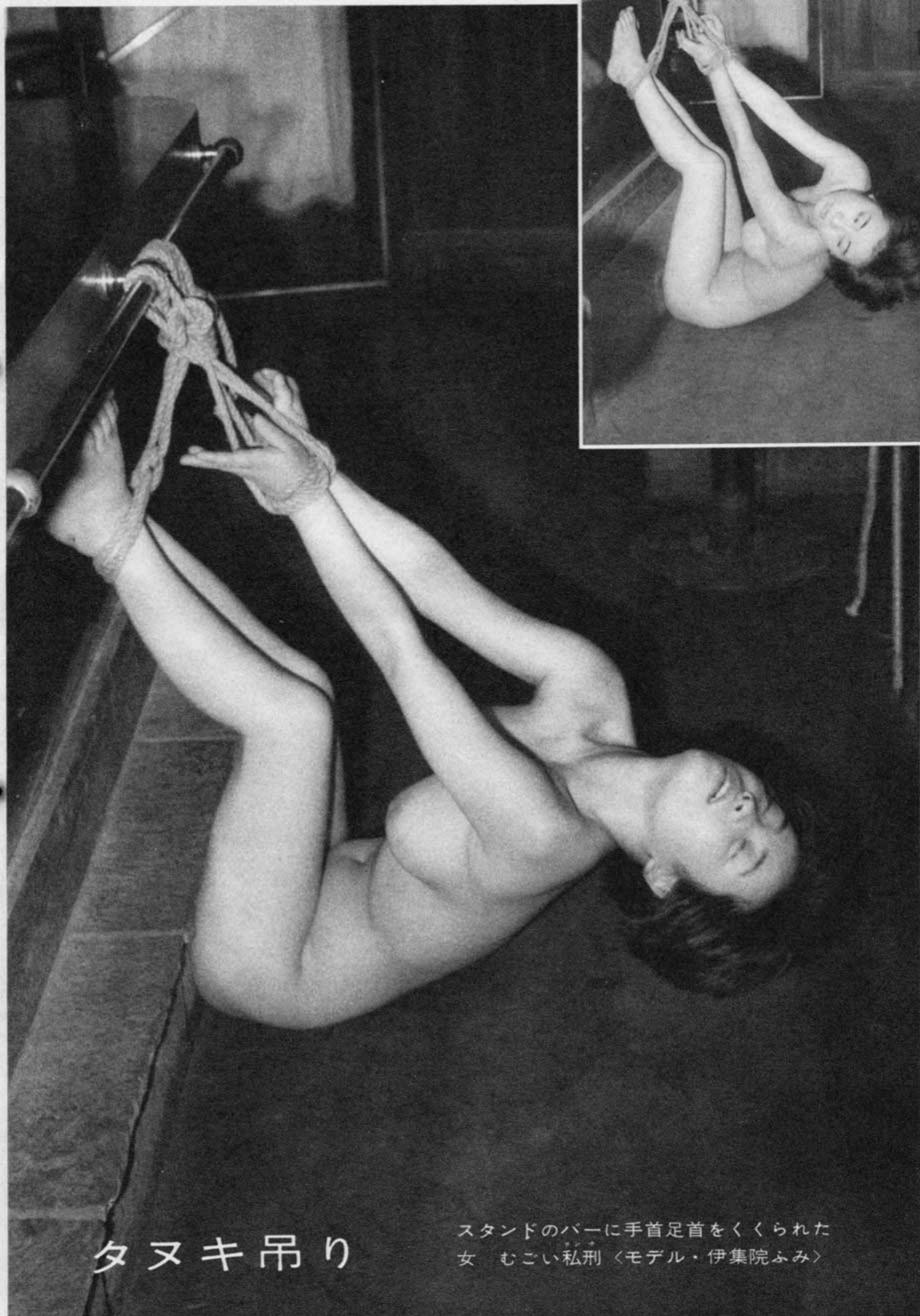




すだれ巻き責め

昔のリンチに ス巻きで川にほうりこむのがある ビニール製のすだれで巻かれて 縛られて 裸身の女は 死を待つよりしかたないのか じっとしているヘモデル・さつきみち





タヌキ吊り

スタンドのバーに手首足首をくくられた
女 むごい私刑〈モデル・伊集院ふみ〉

橋責め 6 景



青空吊り

はね上がった橋の裏側に吊られて青空に浮く（古正英生・え）







橋 け た 吊 り

橋上を車が通るたびに振動で不眠の時間が続く〈田上恵子・え〉



両手首吊り

空中高々とアーチに吊られた両手首が痛いノ〈田上恵子・ス〉



これは女体の人間弓だ 目の下を川が流れ 遠くに両岸の家並みがかすむ〈田上恵子・え〉



女体の弓吊り

手首と足首をくくって引きしぼり 橋げたに縛られた女



開脚の姿勢

川風が裸身に冷たく 後ろ手がギリギリ痛む〈江馬美久・ス〉

教田人形製作所



△1▽

きょうまた特殊K号の人形を一体つくりあげた。会心の

できばえだ。

その他大せい

と一いっしょに

デパートなんかに入納するのは、もったいないくらいだ。

わたしは、それを密室の工

房につれてゆき、横

に倒した。その口に

悪魔の赤い酒をのませ、入魂にろうこんの式を施ほす。

「いいか。おまえの造物主であるオレを忘れるなよ。そして、町にちらばっているおまえの姉妹きょうだいと同じように、いつまでも、ふしぎのいのちをもちつづけるのだよ」

わたしは、生ける者にささやくように、タラタラとささやいた。

そのある瞬間に、人形の目に、あるふしぎな光がやどる。

ちかごろのマネキン人形は、ご承知のようにファニー・フェイスを通りこして、奇怪に抽象めいたデフォルメをほどこしたものが多い。

裕 村 々 獅

え 子 恵 上 田



たったひとりで向きあっていると、ゾーッと背筋に寒気を感じさせるような、奇怪なムードをただよわせている。

それがまた、ある種のハイ・センスめいた効果をもりあげるのだ。

わたしのは、表情や姿態や髪型に、独得なくふうがこらされてあった。

その特徴をひとことではいえず、うんと抽象化されているクセに、どこか一個所、オヤ?

と思うくらいナマナマしい生体の肉感がかくされているのだ。

「教田さんとこの人形は、とても魅力的な様子をしているね」

取り引き先の問屋の人などは、そうって感心する。

かれらは、それがなぜであるかを、知らない。そして、その仕かけを知ったら、

「あーッ」

とさけんで逃げだすにちがいないのだ。

△2▽

ひるの日なかに殺人の告白をしようという、わたしは狂気だろうか?

しかし、それを話さないことには、わたしの人形の秘密はわからない。

人たちは、この一、二年のあいだ、私鉄のS線沿線地区で断続して起こった若い女の失踪事件をおぼえているにちがいない。

そのまま、ヨウとして行くえがわからず、当人の死体らしいものもあらわれなところから、それは、いくつかのナゾの失踪事件として葬り去られているのだ。

わたしがある日、町をあるく。

そこで、とても魅力的なくちびるをもった娘とか、うつくしい鼻すじをもった娘などに出会ったとする。

わたしは、その娘を、そしてその魅力的な部分を、完全に自分のものになりたいと思う。

それから、狂気のような執念と、悪魔のような冷酷さをもったわたしの誘拐計画がくみたてられるのだ。

わたしは、あらゆる手段をつくして、その娘を誘拐することに成功する。

それから、密室の工房における彼女のマスクの採取がはじまるのだ。

うつくしいくちびるは、静止しているときだけ見たのでは、ほんとうにその美しさがなかったとはいえない。

泣いたりわめいたり笑ったりするところをとらえ得て、はじめて、その美しさの本質に肉迫できるのだ。

誘拐された娘は、わたしの密室の工房で、恐怖や羞恥や苦痛の、あらゆる試練をうけるギロチンのような大時代な設備もあって、そのあいだに首をさしこまれたりした瞬間には、全身の恐怖がその表情に凝集する。

わたしは、それを写真にとり、スケッチし、さらに石コウのデスマスクをとるように、メリケンをうすくのぼしたやつで面型めんがたをとる。

デスマスクの場合は、マスクをとられる本人は死んでいるわけだが、わたしのは、生きて苦痛や恐怖にゆがんでいるマスクだ。

その面型をとるときに、女があばれないように、全身はしっかり縛りつけてあるし、頭



も動かないように固定してある。
しかし、表情まで凍りつかせるわけにはいかない。

均等の厚みにのばしたウッド
ン粉のかたまりを顔にちかつ
けてゆくと、女は、

「あーっ」

と恐怖の悲鳴をあげる。

そいつを、いさいかまわず
ピタリとおっかぶせてしま
うのだ。

そのまま、手のひらや指先
に微妙な力を加えながら、ジ
ワジワとおしつける。

十秒、二十秒、三十秒――。

ウッドンを練ったプラスター
が、女の顔にスキ間なく密着
し、どんなかすかなヒダのあ
いだにもしみこんだ時分を見
はからって、それをそうっと、
しかも手ばやくはなす。

そんなとき、女は、魂まで
吸いとられてしまったよう
に、グッタリしているのがつ
ねだ。

それにもましてわたしの胸
をおどらせるのは、はがした
面型の内側を、そうっとハガ



してみるときの、あのワクワクするような期
待だった。

△3▽

それは、女の顔の精妙な立体的ネガチブだ
った。つまり、鼻などの、顔の出っぱった部
分は、マスクの内側で凹面となってあらわ
れ、逆に顔の凹面は凸面となってあらわされ
ていた。

苦痛と恐怖にゆがんだくちびるは、ちょっ
と見ると、笑っているように見える。

一見してそれは、奇妙な凸凹からなるウ
ン粉のかたまりにすぎないのだが、その凹凸
を逆にして、チャンと面型をとりなおすと、
おどろくほどいきいきとした女の顔が、そこ
に出現するのだった。

ひとりの女について、すくなくとも数種類
の表情が、そうやって採集される。

わたくしはでき上がったいくつかの面型
を、ズラリと工房の壁にかけておく。

笑っているB子。

悲しんでいるB子。

おこっているB子。

恐怖におそわれているB子。

苦痛にのたうちまわっているB子。

そして、天女のようにみちたりた陶酔のマスクをとらえるためには、わたしは、特殊な麻薬をつかい、じっさいに女をそうした陶酔の境地にみちびきこんだ。

顔だけではなかった。

胸。

胸。

ヒップ。

そして脚。

そうした各部の微細は表情と起伏が、べったりと採集される。

プラスターのコンディショニングがいいときには、ちょっとした皮膚のシワとか毛穴までがいきいきととらえられた。

工房の中は、ひとりの女のいくつかの表情別のマスクや、からだ各部の部分的な造型物でいっぱいになった。

そのバラバラの胴体や手足の中で、わたしは、採集を終わった満足を味わいながら、



悪魔の赤い酒をのんだ。

そのときには、生きている現実のB子の肉体は、わたしにはもう不用なものになっていた。

そこでわたくしは、一つには秘密の発覚を防ぐために、一つにはつくりあげる人形のいのちを永遠なものにするために、B子の存在をこの地上から消した。

それと入れかわりに、B子の生命が人形にのり移るといふふしぎなジンクスを、わたしはもっていたのだ。

△4▽

きょうも暑かった。

わたしは、あるデパートのウィンドウの前に立っていた。

その中には、流行の衣装を身につけたマネキン人形が、気どった様子をして立っていた。

それは、わたしがつくったものだった。

それは一見して、ほかのマネキン人形と変わらなかったが、ヘラでしゃくったような、うすいくちびるのまくれあがり方と、眉間のひらきぐあいに、マネキン人形の一般原則を無視した、独得のアクセントがあった。



それは、わたしが素材にした、S子というある娘のものだった。

もちろん、ほかの人が見ても、そんなことはわからない。それは、わたしだけに解読できる暗号のようなものだ。

ひとむかし前の猟奇小説には、殺人淫楽者が、殺した女の死体のある部分を、人形の中にぬりこめて人目にさらし、ひそかな自己満

足にふけるようなのが出てくる。

わたしはそんな大時代なまねはしない。

殺した肉体は肉体で、独得の方法で完全に消滅させる。

わたしが人形に封じこめるのは、殺した女の肉感そのもの、生命そのものなのだ。

そして東京にちらばっている、命をわけた姉妹たちのその後の動静を、そっと見まわってあるく。

それが、わたしのひそかな悦楽だった。

ある日、わたしは、マスクや肉体的な特徴を採集しおわったひとりの娘を殺した。

殺した死体は、夜になって処分するのがならわしであり、殺したときはまだ午前中だったので、わたしは死体を冷蔵庫がわりに暗室の中に入れ、その中に氷柱を立てて外出した。

午後三時ごろには用事が終わり、帰宅できずだった。

仕事は予定よりも早くおわった。

わたしは、例のイタズラ気をだして、Oデパートの婦人服売り場に立っている、わたしの作品を見にゆく気になった。

S子はそのまゝに立っていた。あのときのS子そのままの、ゾッとするような肉感を口

好き人に贈る!!

(未成年の方)
おことわり

大人の珍本

送共 千四百円

大人の写真

送共 五百円

書画目録 千30円封入の方に送る

東京都新宿局64号口 愛好堂

もとにただよわせて……。

わたしは、しばらく、みいられたようにそこに立ちつくしていた。

そのとき、わたしの背後に、チラリとはなやかな色彩がゆれたと思うと、ひとりの若い女がたちどまった。

うしろに目があるわけではないが、それが若い美しい女であることは、なんとなくわたくしにはわかった。

そのうち、わたしは、ふとおかしな胸騒ぎを感じた。わたしの肩こしにじっとその人形に女が見入っているぐあい、どうもふつうではないのだ。

息をつめて、異常な熱心さで見入っているのだ。

ひょいとふりむいてその女の顔をみたとな

ん、わたしが殺した女そのものが、そこに立っていたではないか。

わたしは、全身の血が凍りついた。

次の瞬間、わたしは倒錯していた。

デパートの中の光景が、くるとひとまわりすると、人間と人形がごっちゃになった。

わたしは、目の前の人形に、いや人間に、おどりがかってゆくと、奇妙な声をあげながら、夢中でその首をしめあげていた。

気がつくと、S子がそこに倒れていた。そ

してわたしはわっと集まった人ばかりの中で、デパートの監視員にとりおさえられ、警察に引き渡された。

女は、仮死状態だったので、まもなく蘇生したらしい。

わたしは、それが、殺したS子の姉であることを知った。そのとたん、わたしは、ながいあいだ成功していたわたしの完全犯罪が、これをキッカケに破れるにちがいたい、と直感した。

それから、わたしの工房の暗室の氷がとけはじめ、あたらしいいけにえの死体が発臭しかけているかもしれないと思った。

あすになっても帰らなければ、それは、さらにはげしくなり、やがて発見の端緒になるだろう。

いますぐにでも、とんでいって始末したかった。

しかし——わたしをとりまく留置場の壁は、あまりにも厚かった。



クサリと女





＜時代責め絵物語＞

無残いれずみ地獄

わが娘とも知らず、目かくし、サルグツワ
の女の白い肌に針を刺す入れ墨師の悲劇ノ

① 名人いれずみ師

まるで墓場のようにうすぐらい、しめりけ
をおびた部屋であった。

金網あんどんのなかのロウソクが、虫のよ
うな音を、ジジジ……とたてている。

このぶきみな穴部屋に、ほの白く、巨大な
ナメクジのようにうごめくものがあつた。

白くうごめくのは、女の裸身である。肌の
色のみずみずしさ、黒髪の豊富さは、それだ
けで、若い女と知れる。

裸身の娘は、異様なかたちに手足を縛られ
ていた。部屋の中央にすえられた、奇怪な姿
の木馬の上に、くくりつけられていたのだ。

木馬の首にしがみつこうような格好で、背中
や腰を、まるまるとさらけだしていた。

赤 木 恵 介

小 田 利 美 ・ え

「かわいいそうに——」

娘のすぐ耳もとで、男の声がした。

この男は、いれずみ師の伝吉。彫り伝とよ
ばれ、いれずみ針を握っては、江戸でも屈指
の腕をもつ、としのころ、もう五十にちかい
男である。

「おい、娘さん。往生するんだぜ」

いったかと思うと、伝吉の右手の針が、プ
ツリツと娘の背肌へ突きささった。

「ひいーッ！」

と悲鳴をあげ、白い波のように身をくねら
せる娘。だが、木馬の胴へ四肢をくくりつけ
られた身では、襲いかかる針から、どう逃げ
ることもできないのだ。針は、娘の柔肌に、
チク、チクとちいさな躍動をつづけていく。





伝吉のひたいから、やがて汗がしたたりはじめた。首にかけた手ぬぐいで、その汗をふきとりながら、伝吉は針の手をやすめない。と——このいれずみ師の背後から、もうひとりの男の顔が、ぬうッとあらわれた。

「おう、やっていますね、伝吉さん」

妙にたどたどしい口のききかたである。

「よろしい、よろしい、仕事熱心、たいへんよろしい」

ほめたのは、紅毛碧眼、異国のころび宣教師、ガルベスという男だった。血色のよいふとった顔に、まんぞくの意をあらわし、木馬の上の裸女に、みだらな目をそそぎかける。

「この絵柄は、なんというのですか？」

伝吉の手もとをのぞきこみながら、ガルベスはきいた。

「こいつはね、カモの入れ首ってやつでさア」

伝吉は、ふきげんにこたえる。

「ほう、おもしろい、なまえね、ふふふ」

青い目が、好奇に燃えるのだ。

カモの入れ首とは——むろん、男と女の、あやしいよろこびの一種の形態をいう。

こともあろうに、娘の生き肌、この羞恥の図柄を彫りつけるとは、なんという。神をおそれぬしわざであろうか。



② キリシタン屋敷

この墓場にも似た一室こそ、江戸小石川、キリシタン屋敷の地下牢の一面につくられた、拷問部屋のひとつだった。

キリシタン屋敷というのは俗称である。もともと、宗門奉行をつとめていた井上筑後守の下屋敷であった。筑後守はここに、邪宗徒のための牢をつくり、多くのキリシタン信者を捕えておしこめ、拷問して改宗をちかわせたり、また斬罪に処したりした。

オランダ人宣教師ガルベスは、この牢での苛酷な拷問に屈して転宗し、さらに幕府への協力をちかった。

神をすてたガルベスには、悪魔の心がのりうつった。キリシタン狩りに加担するいっぽう、このガルベスは、その褒賞として、宗徒のなかで、どうしても改心せぬ若い女を、自分にさげわたしてくれ、と奉行にねがいでたのである。



③ 女体密貿易

棄教の心なくば、どうせ殺さねばならぬ人間どもである。奉行は、ごく内密に、これを許可した。

ガルベスは、さらに役人にむかい、この屋敷へ、腕のいい、いれずみ職人をつれてくるようにたのんだ。

悪魔と化した宣教師は、美しい日本の娘の肌へ好奇の図を彫りつけ、その娘たちを海のむこうの諸国へ売り飛ばそうと図ったのだ。

いまわしい絵を背なかにきざまれた、生きた商品の、いわば密輸出である。

いま——この穴倉めいた地下部屋で、いれずみ針に呻吟する娘は、かぞえて、すでに十人めのいけにえだった。

「ウウーッ、ヒイーッ！」

と、耐えかねて娘の吐くいきには、死よりもつらい、屈辱のうめきがあった。この針責めには、過去にうけた拷問の方法とくらべても、まさるともおとらない苦痛がある。まっぴんなくチクチクと肌身を突く針は、いつ果てるとも知れぬ冷酷無慈悲な責めなのだ。

ガルベスは、片手にギヤマンみがきの鏡をつかんで、娘のそばへ寄る。



「これ、ムスメさん。この鏡で、あなたの背なかを、ごらんなさい」

娘の髪の毛を、ぐいとわしづかみにして、背後の鏡へねじむけさせる。

「目をあけて、自分の背なかをみてごらんなさい。さあ」

ガルベスは、むりやりに娘の目をひらかせると、ろうそくの火と鏡をつかって、背なかに描かれていく、あやしい痴戯の図をながめさせるのだ。

はじめは、自分の肌に、なにが彫られていくのか、わからない。が、奇妙な四本の手足

のたわむれに、娘はやがてさとするのだ。

「あれえッ」

羞恥よりも恐怖の聲が、思わずあがる。

むりもなかった。単なる針責めとばかり思ってた耐えていたのに、けがれを知らぬ肌へ、汚辱にみちた姿態のくねり。

「うふふふ、いかがですか、ムスメさん」

抜け荷買いの船へ、この娘を、また高く売る。もうけた金は、半分を奉行や役人どもへ……。のこり半分の金を、自分のふところへ。うふふふ……。

ガルベスは腹中で邪悪の計算をするのだ。

④ 良心のかしやく

——おれはもう、いやだ。おれにはもう、こんな鬼みてえなことはできねえ！

いれずみ師の伝吉は、良心のかしやくに耐えかねた。

むりやりつれてこられたキリシタン屋敷だ。娘ひとりを彫りあげるたびに、百両という大金を与えられるが、屋敷内に足どめされたまま、もう三カ月も家へ帰してくれない。

伝吉の家には、ひとり娘のお絹が、父親の身を案じているにちがいないのだ。

——家へ帰りてえ。

しみじみ、伝吉は思った。たまりかねて、それをガルベスにいうと、

「いけません！」

ガルベスは一言のもとにはねつける。

「日本から、キリシタンのムスメが、ひとりもいなくなる日まで、あなたは、ここで、仕事をしますのです」

ガルベスのことばに、伝吉は怒りだす。

「ちくしょう、なんてひでえことをぬかす毛唐なんだ。ようし、おれも江戸ッ子だ。てめえみていな赤っ髪に命令されて、こんなツミな仕事をつづける気は、もうねえやい！」



⑤ 大名の姫君

その翌日の夜、地下部屋へ、あたらしい娘がひとり、つれてこられた。

口には大きなサルグツワ。そして、両眼にも、ぎゅちりと目かくしの白布がくいこんでいる。そのために人相はわからないが、肌色の白さ、なめらかさは抜群^{ぼつぐん}だった。

むろん、いれずみをするための背なかを、腰までもしらじらとむかれ、両手は嚴重に縛りつけられている。

「伝吉さん、こんどは、このムスメさんに、いれずみ、してください。いちばん、おもしろい、図柄を」

ガルベスは、なにやら意味のこもった微笑で命じた。

「……………」

伝吉は、ブスッとして返事をしない。

「このムスメさんがすめば、あなたを、お家に帰してあげますよ」

「えッ、そいつア、ほんとですかい！」

伝吉は思わず、よろこびの大声をあげた。

「ほんとうですとも。ただし、このムスメさんの目かくし、サルグツワ、ぜったいに、とらないでください。このかたは、さるキリシ

タン大名のお姫さまなのですから」

ガスベルはまた複雑な微笑をもらした。

——これで終わりというのなら、よし！

伝吉は決心した。

娘の両手を前で縛りなおすと、天井の金輪^{かなわ}へ縄をとおして吊りさげた。両足首も縛ってぎゅちりと床に固定させる。白い裸身は、一本の白い棒のように直立した。

娘は、気のくるったようなはげしきで、みもだえた。サルグツワのために声が殺され、白いのが、せつなげにふるえる。

「かにんにしてくれよ、お嬢さん。どこのお大名のお姫さまかは知らねえが、あっしも、おどかされてやっているんだ」

いいわけをしながら、伝吉は筆をとって、柔肌^{なみ}へ下図をかきはじめる。

生娘^{きじう}の身には、羞恥きわまる、れいの秘戯の絵柄である。

「ほほう、これはまた、変わったかたち。これは、なんというのですか？」

ガスベルの顔は、卑猥^{ひわい}そのものだ。

「帆立^{はた}て貝^がって、よんでいますかね」

そっけなく、伝吉はこたえる。やがて、針にかかるのだ。十六本たばねた針を、右手にとり、プツリッと突きたてる。

「グ、グ、グウーッ」

娘ののどが鳴り、雪のような裸身が、硬直してけいれんした。

プツリ、プツリ、プツリ……

スミをつけて、針がえぐる。突く。スミが肌^{はだ}にじむ。

赤鬼のような残忍な笑いをうかべながら、ガスベルも伝吉の横に立って、針のすすみぐあいをながめるのだ。

はげしい身もだえと、押し殺された悲鳴だけが、哀れな女体の抵抗だった。



⑥ 鬼畜の策謀さくぼう

三日三晩を、伝吉は不眠不休の勢いで彫りつづけた。家に帰りたい一心だった。
「できた！ できあがったぞ。さあ、おれを家へ帰してくれ。おれはもう、死んでもこんな、アコギな仕事はしたくねえ！」
疲労こんぱいの目を、赤くギラギラ光らせ

ながら、伝吉はいった。
「ふふふ、伝吉さん、あなたはもう、魂を悪魔に捧げてしまった。もう、あなたは家へ帰れない。あなたは、わたしといっしょに、いつまでも、この仕事をつづける。あははは」
ガスベルは哄笑した。その大きな口からはまっかな炎が吐きだすかにみえた。
「な、なんだって！」

伝吉の胸に、ぶきみな予感がおそった。

「これをみなさい」

ガスベルは、いま秘戯図を完成したばかりの娘のからだの、それまで、かたく隠していた目と口の白布をとりぞいた。

「おとっつあん！」

娘がさげんだ。髪はみだれ、幽鬼ゆうきのような蒼白そうはくな顔だった。

「あッ、おまえは！」

がくぜんとしてのけぞり、伝吉は全身を凍りつかせた。

キリシタン大名の姫君などとは、ガスベルのいつわり。じつは、伝吉の娘のお絹だった。伝吉を自分のそばに縛りつけておくため、役人を使ってお絹をこの屋敷へつれてきた。すべてはガスベルの奸悪な策謀であった。
「くそッ、鬼、けだもの！」

伝吉は猛然とガスベルにくみついた。
たとえ自分の身が極刑ごくけいにされようとかまわない。この毛唐の赤鬼の息の根をとめてやるのだ！

こらえにこらえていた怒りが爆発した。伝吉はもう夢中だった。ガスベルののどを両手でつかみ、満身の力をこめてしめつけた。
「くそッ。人非人ひとびとめ、地獄へいきやがれ！」

インディアンに つかまった三人の女

これは、ヌートリクスのプレジューア・パレードという七巻ものの第一巻に出ている小話の一つだ。プレジューア・パレード、つまり「よろこびの行進」とは、ヌートリクスの短編集の一つにつけられた題名である。わたしは、ずいぶんこの題にふさわしい訳を考えたが、ついに名訳が出てこないままに、無



理に「M・S大観」と名づけたのだが、どうも満足できる訳ではない。どなたか、ひとつ、よい題名を考えてくださればと思っているようなわけだ。さて、この第一巻、以前にもちよつとご紹介したことがあり、その時に触れなかったものを、ここで取りあげてみよう。八谷 貫太 V



一八四九年、ゴールド・ラッシュの騒ぎがおさまったところの話である。

人々にまじって、そのころでも、やはり、何千人の女たち——それは、バーの女給やホステスたちだったが——が、男たちといっしょに西部へと旅立っていった。もちろん、西部の金にあこがれてである。

彼女らは、やはり、未開で、敵意に燃えているインディアンの領域を越えてゆかねばならなかったのは、もちろんである。

エミリー、ナオミ、ジュリーの三人のショウ・ガールも、こうした野心に燃える女たちの中にいるのだった。彼女らはただ、普通の生活にはあきたらず、したいほうだいの生活を望んでいるのだったから、旅のしかたも普通ではなかった。

西部ふうの脛割れの皮のスカートをはき、平らな帽子をかぶり、あごひもをギョツとしめ、ハデな色のシャツを着ていた。脚には、茶色の地に白い皮の模様をついた短いカウボーイ長靴をはき、万一の時に馬をはしらせるために、鋭い、むごいほどがった拍車をつけていた。

もし、インディアンに攻められたときには、馬の脚だけが唯一の頼みだ。だから、彼



女たちは、どんな、痛い目にあわせてでも、馬を力いっぱい走らせるようにと、そのうえに、一メートルぐらいの長さの、四本の皮紐をより合わせた鞭を持った。

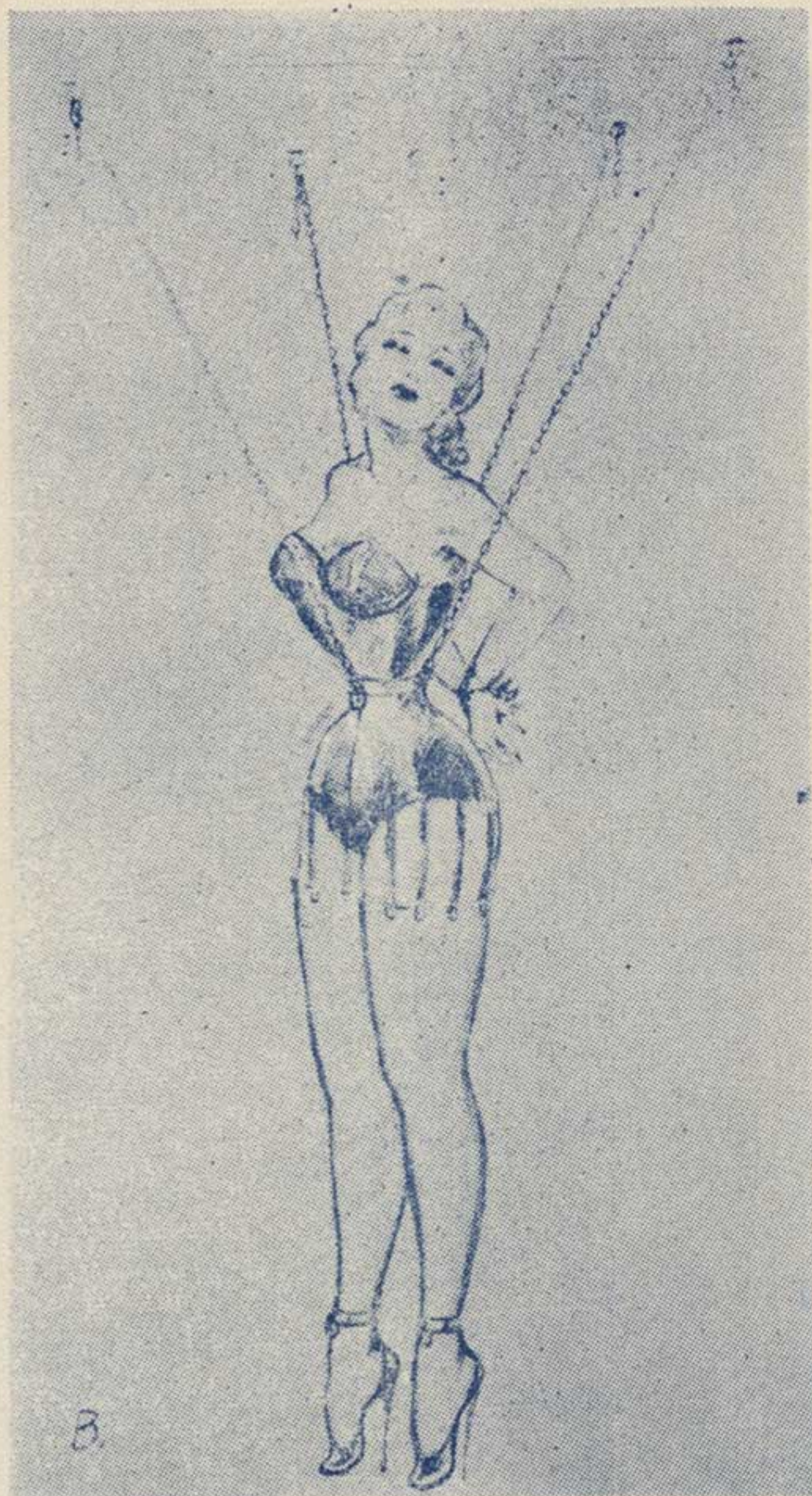
三人の女たちは、それぞれ、こうして旅立って行った。

その前途には、黄金の夢と同様に、蛮人の

襲撃が待っているのを、彼女たちは、気にしていなかった。

案の定、インディアンが襲ってきた。

まず、エミリーが、つかまった。彼女は、三人のなかでは、一番やさしい心根の持ち主で、どうしても、ほかのふたりほどむごく馬を扱えなかったからだだった。



コルセットとハイヒールをつけられた彼女はうしろ手に縛りあげられ、クサリで天井から吊られた《気ままな若い娘はどんな罰をうけたか?》から

二人を並べて障害物にして、ナオミの馬を追い立てるのだった。

こうして、三人は、次々とあらゆる恐ろしさにあわされた。

三人は、実は恐ろしくて声も出なかったのだが、酋長の娘は、三人のことを、肝っ玉の太い女たちだと思ったのだから、二、三日たつと、だんだん、なぶり方がゆるくなってきた。

そして、野牛狩りのまねで、縛られたジュリーが、野牛のエサにされるという男たちの考えた遊びが、行なわれかけるとき、騎兵隊が、三人を救出した。

三人は、もう、西部への旅をあきらめていた。以前のように、それからシカゴの町で踊っていたこの三人の女たちは、それからあとでも、こわれるままに、このおそろしい体験を客に話すのだった。信ずる客もいたし、首をひねる客もいた。

だが、まもなく、残るふたりもつかまってしまった。

白人女三人という珍しい捕虜に、部落はわいた。しかし、^{ろうしゅうちやう}酋長は、自分の娘に彼女たちを監視させることにした。男たちは、三人の白い女たちをもてあそぼうとして、どんなまちがいを起こすか知れなかったからだった。

酋長の娘は、かつて殺された自分の兄のうらみを持っていた。だから、屈強な男たちを使って、娘は、三人の女たちを次々にもてあそんだ。

毒へびをけしかけながら、さかさ大の字に縛り合わされたエミリーとジュリーは恐ろしさに声も出なかった。

また、ナオミを縛って裸馬にのせ、あとの

女強盗にあうの記

編集長様——

わたしは、三十二歳のたくましい男です。とつぜんこんなお手紙をさし上げるのは、最近あたしが体験した、おそろしい一夜のことをお話ししたいからにほかなりません。

その夜、二部屋^{ふたへや}つづきのわたしのアパートの一室で、わたしは寝ていました。

夜中すぎだったと思います。下のほうで、ゴトリと何か音がしました。最近、わたしの家の近所で、強盗が押し入って、その家の夫人を犯したという事件があった直後のことなので、

——強盗！——

と思ったとたんに、わたしは、恐ろしさで、ちぢみ上がってしまいました。

元来、気の小さいほうではないのですが、なにしろ、その事件の時には、男たちは皆殺しになったのですから、わたしが、ふるえ上がったのも当然です。

やがて、ドアが、少しずつ開かれてきまし

た。

だれかはいつてきたな！
と思った瞬間、わたしの顔は、背後から、

ものすごい力で押えられ、息をすることもできなくなりました。

そして、手がゆるむと思ったとたん、まっ黒な冷たいものが、パッサリと顔をおおってしまいました。

ゴムです。たしかに、それは、ゴムの布^{ぬい}でした。臭いにおいといっしょに、わたしの息





が、そのゴムの布の中に充滿して、なんとも不愉快であったのを覚えています。

だれかが、わたしをひきずり起こして、ひざまずかせ、幅のひろい皮バンドで、足と手を、それぞれ縛りました。

わたしは、ただ窮屈な格好で、ひざまずいている以外に、何もできないのです。

プーン、と、上品なオウ・ド・コロ・ニエのにおいがしてきました。

——？——女だ！

あたしがそう思ったころ、家の中はあっちこっちひっくり返されていました。隣近所には、防音壁のおかげで、何もきこえないことを、きっと知っているのでしょうか。

物音がおさまってくると、かれら——ふたりか三人でした——は、わたしの背中に手をかけると、ビリビリと寝巻きを破りはじめました。そして、わたしは、皮バンドで縛られたまま丸裸にむかれてしまったのです。

それからのことは、何も覚えていません、と申し上げましょう。ともかく、彼女たちは、次々と、縛った男を相手にして、欲望を達したのです。

彼女たちは、無言でした。もし、彼女たちのひとりに、わたしが、町であったとしても、わたしは判断することができません。

ともかく、かれらが退散すると、わたしは、やっとのことで、電話器にとりついて、舌でダイヤルを回すことができました。ゴムの布は、下のほうの口の部分は、強く締めつけてなかったのです。

警察がきて、わたしは、いろいろと証言をしました。しかし、その後、かれらがつかまったということもききません。

わたしは、そのうちに、わたし自身が、警察から信用されていないということに気づきました。事実、このおかしな強盗は、家の中をひっくり返して、何ももち去っていないのです。正確にいうならば、わたしがひそかに

集めていたある種の写真を除いては。
もちろん、そんなものを警察に届けるわけにはゆきません。

わたしは、友人にも、この話をしました。
しかし、だれひとりとして、女の強盗が、男を暴力で犯し、そんな写真だけを持って行ったとは信じません。

しかし、わたしは、あなたなら、こんな女もいるものだということを、信じてくださると思います。それが、この手紙を書いた理由です。



木に縛りつけられた女二景

こういう物語が、全部で、一冊に十三から十五編はいつているのが、このプ

レジュア・パレードです。ここに紹介した二つの話は、その第一巻から抄訳したものです。

「ブレジュニア・パレード」はヌートリクス社の総代理店・泰西出版資料会社（横浜市中区北方町1の67・電話（2）九三二三）で予約販売しております。価は二三六〇円です。なお、文献資料刊行会代理部でもお取り扱いいたします。





このページの4枚の絵は、いずれも『プレジューア・パレード』の第1巻に収録されている読み物のさし絵。これだけ見ても、だいたいの内容がわかると思ったので、掲載した。





はりつけるために、ジャミナは、ペペのからだをトゲムチで打ちすえて、全身血まみれに

しておいて、皮をかぶせたのよ。だから、皮ははこうとしてもはがれなかったわけね。

でも、みな不思議がってた

わ。射殺される前にペペが叫ぶことのできたのですものね。

なぜ、ペペが、叫ばなかったかは、あとになってわかったわ。遺書があったのよ。つまり、ペペは、ジャミナがほ

かの男と婚約したのを起こって、無理心中したわけよ。ペペは、ジャミナのライオンであり、恋人だったわけね。ど

っちも、ジャミナには必要なものだったのだから。そうして、みなは、遺言どおり、ふたりを一つの墓に入れたのよ。

じき、戦争が始まるっていう、暗い、あわただしい世の中だったわ。

けれど、ペペの心が残っているのか、このお墓にお参りした男女は、一度結ばれたら離れないそうよ。ちょうど、

ジャミナがペペにかぶせた生き皮のようによ」

すでに、夕やみが迫っていた。その夜、なんとなく、わたしは、彼女とまくらを共にしてしまった。

このペペとジャミナの話が、奇妙な興奮と、ロマンチックな刺激とを感じさせたからだった。

帰りぎわに女は言った。

「覚えておいて！ あたしの名は、ジャミナよ。きのうの話は、みなウソ。あたしの夢を話したんだわ。ペペを待ってるのよ。あたしは、いつまでも。そのために、この仕事から離れないのよ」

すがすがしい空気の中に、わたしは、頂光をいただいたマリアのようなものをみた。

帰りかけて、ふと足もとをみると、一枚のピラが、よごれたまま吹きよせられてきた。

「アリヴェデルナ・ア・トウケウ」

オリンピックの合いことば、

「東京で会いましょう」

という活字が、わたしに、ほほえみかけているのだった。

虫

責

め

の

設

計

アリの群列

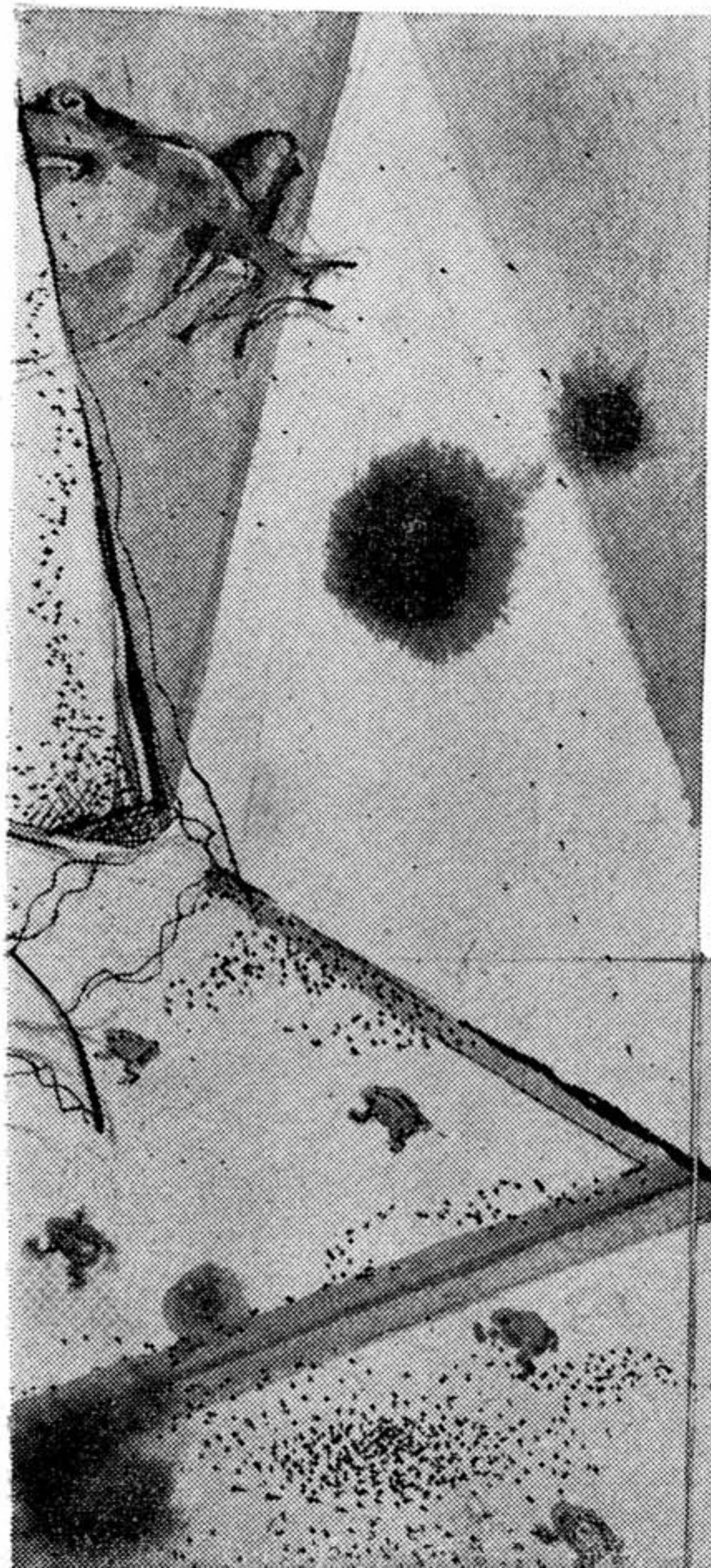
日眼^{ひめ}は、メカケの時子の家の近くの暗やみで、もう小一時間も立っていた。

宇宙教という新興宗教の教祖であるかれが、五島^{ごとう}という信者の娘の時子に一目ぼれして、彼女を二号ならぬ五号めのメカケにし、この石神井^{しやくし}に妾宅をもたしてから、かれこれ半年近くになる。

時子のもとに来る日は、月のうち何日々々ときめてあって、今夜はそのきまりの日ではないのだが、急に若い柔肌^{やわはだ}をだきたくなつて、一時間ほど前に彼女の家の近くに來かかったとき、家の中からひとりの若い男が出てくるのを、日眼はみとめた。

神保与七郎

田上恵子・え



瞬間、かれは、「時子のやつ、おれの来ない日に男をひきいれてるな」とさとした。すぐにもとびこんで、彼女を糾明^{きうめい}してやろうと思ったが、そこは老獪^{ろうかい}な日眼、待てよとふみとどまった。

いっそ時間をずらして、時子がねいったころ忍びこみ、そのうえで証拠をつかんだほうがいい——こう考えなおして、時間^{とき}をすごしているわけだ。

あたりに人家のすくないこの寂しい小道に

も、うしろのほうにクツの音がきこえた。

人にあやしまれてもつまらない。もうソロソロはいつてみるか。日眼はかって知った木戸口のカギをはずして、庭にはいりこんだ。縁側の雨戸は堅くたててある。が、日眼だけがあけられる戸が一枚あるのだ。かれはそこから家のなかに忍びこんだ。

そのまま足音を殺して、時子の寝室へすすむ。そっとドアをあけると、時子がスタンドの電気を小さくして、グッスリとねむってい

た。

日眼は室内にはいると、電灯を明るくして、時子のまわりをみまわした。男との交歓^{こうかん}のあとであることが、一目で歴然とわかった。それらの証拠になるような品々を、上着のポケットにおさめながら、日眼はなにげなく、時子のまくらもとのティー・テーブルの上に目をやった。

そこには、飲みかけのジュースのビンやコップ、果物のさんがいが、乱雑に散らばって





いたが、そのピンやコップのうち、くだものの皮などに、小さなアリの群れがビッシリとすいついて、いそがしげに右往左往しているのだ。しかも、新しいアリが、テーブルの端からぞくぞくとのはってくる。

うーん……そうだ。

瞬間、日眼はあることを思いついて、アリの道をたどった。かれらは室のすみの小さなはきだし口から伝わってくるのだった。

それをたしかめると、日眼は、眠っている時子の腕にふれてみた。よほど疲れて眠りこんだともえて、微動だもしない時子だ。

日眼は洋服ダンスのヒキダシから、二、三本の細紐^{ほそひも}をとりだすと、時子の手足をベッドの脚^{あし}に縛りつけはじめた。

それでも時子は目をさまさない。

こいつ、殺されてもわからないだろう。……

……だが、いまにみろよ、目をさまさずにはいられなくなるからナ。

女肌を吸う虫

縛りおわると、日眼は、アリが群がりついているジュースのピンをとりあげ、三分の二

ほど残っている液体を、時子の白い額の上にタラタラ……とたらし。

数匹のアリが液といっしょにおちた。

鼻のあたまで、ほお、あご、のど……と、日眼の手のジュースびんは、やすみなく場所を移動しながら、液をたらしつづける。

水色のネグリジェの前ボタンがはずされて、時子の膚^{はだ}がケイ光灯の光の下で、青白くむきだされる。その甘い膚のうえに、甘い液がしたたりおちる。胸、わきのした、二の腕、腹、もも、もものあいだ……。



そのうちにも、額におちたアリが、仲間
伝達したとみえ、はやくも時子の額のそこ
こに、アリが群がりはじめている。

日眼はいそいでピンをおくと、寢室の外に
出た。ドアをほそめにあけて、そのすきまか
らなかをみまもる。

時子の腕の筋肉がやや起伏して、ようやく
彼女は目をさました。腕を引こうとする。引
けるはずがない。みずからのからだ^{いまし}が縛めら
れていることに気がついた彼女は、

「わあーッ」

と悲鳴をあげた。

すでに、その額には、アリの群れがまっく
ろだ。そのうちの幾匹かは、からだのほうへ
いそがしく移動していく。

時子は顔じゅうの筋肉をクシャクシャ動か
しながら、しきりに首をうちふる。快美の頂
点でもみられなかった表情だ。日眼はそのさ
まをこころよげにみつめている。

時子の顔についたアリの群れは、すこしも
ふりおとされないばかりか、ドンドンと加速
度的に数をましていき、その一群は彼女の双
乳の上に、ほかの一群は腹からもものあたり
に、またわき下から二の腕にとりつく群れ、
下肢のほうにすいつく群れと、分散的に密集



しはじめた。

白い女体のうえに、黒いジュータンがしき
つめられた。

時子は緊縛されたからだをくねくねとくね
らせ、もがきながら、狂気したように、ワァ
ワァと声をあげて泣きさけぶ。

「あッ、痛いッ!……痛いわよ……かゆい
わよ……」

「助けて……」

しきりなしにわめきつづける。

日眼は目をかがやかせて、時子の苦痛にも

だえるさまをみまもりながら、

——もっと苦しめ! もっと痛がるがい
い。おれをうらぎった快楽が大きければ大き
いほど、そのあとの苦痛も大きいことを知る
がいいのだ。

と口のうちでつぶやいている。

アリはついに、時子の女体を占拠した。ど
こにこんなにも、のほうずもなく無数のアリ
がいたのかとあきれるほどの大群が、時子の
からだのすみずみにまで、折り重なるように
集まって、甘い汁の残りの一滴をものがさじ

とばかり吸っている。

「わあーッ」

と時子がひとときわ高くさげんで、はげしく身をものがいた。

とみるや、彼女の右手がベッドの脚からはなれて、顔から胸のあたりをひとなでした。

ついに縛め^{いまし}の紐を引き切ったのだ。

ポロポロと四辺に散乱するアリの群れ。

時子の右手がいそがしく左手のひもを解いた。ついで下肢を……。

ベッドからとびおりた時子が、裸体のまま、一直線にドアに突進してきた。

目眼はさっとドアのかけに身をかくした。その前を時子は夢中で浴室のほうへ走っていく。

まもなく、ジャアジャアと水道の水のほとばしりおちる音がきこえてきた。その音の消えぬうちに、目眼はいそいで戸外に逃げだした。

虫責めの設計

目眼は、女体を虫責めすることの悦楽に、すっかりとりつかれてしまった。いまは、時子がほかの男をひき

入れたことの懲らしめのためというよりも、虫責めそのことに大きな興味をもった。

それから三日ほどたったきまりの日、目眼は時子の妾宅をおとずれた。

時子は顔からからだじゅうをはれあがらせて、ベッドによこになっていた。

「どうしたんだ？」

と目眼は知らぬふりでたずねた。

「痴漢にいたずらされたのよ。二、三日前、あなたの来ない夜に、眠ってるまに忍びこまれて……」

そういって、時子は先夜のいちぶしじゅう

を説明した。

「そりゃあいけない。アリのいたずらくらいならいいけれど、いまにとんでもないことをされたうえに、殺されてもしたらいへんだ。さっそくカギのかかる隠れ部屋をつくってやろう」

目眼は、出入りの大工^{だいく}をよんで、浴室のわきに密室を建て増しすることにした。

この建築ちゅうに、目眼は、生きたノミとカエルを集めはじめた。東京じゅうの何万という信者のひとりひとりに頼み、数日のあいだに造作^{ぞうさく}もなく千匹ほどのノミとカエルが手





にはいった。

一方、時子の家の密室は、一週間ほどで
きあがった。

四畳半の小座敷で、四方いっぱいを壁でか
こみ、天井に換気孔がつくってある。が、こ
の換気孔が、室内をのぞける仕掛けになっ
ていることは、日眼と棟梁よりほか知らなかつ
た。

「わしの来ない日は、この部屋でねるように
するがいい」

日眼は時子にそういいわたした。

それから二日ほどたったある夜おそく、日
眼は時子の妾宅に忍びこんで、彼女が密室に
寝ているのをみとどけると、外からピンと錠
をおろしたのち、密室の屋根にのぼった。

換気孔から室内をのぞくと、時子は掛けぶ

とんをふみぬいてねいている。真上からみ
おろす彼女の寝姿には、また別の情趣がある
と、日眼は感じた。

かれの嗜虐欲は激しく燃えあがった。かれ
はまず、ノミをいれた袋の口を換気孔にあて
て、さっと開いた。

数百匹のノミが、下方にむかってパラパラ
と散った。

ノミとカエルの部屋

十日ほどのあいだ、袋の中にとじこめてお
かれていたので、ノミは血に飢えていた。か
れらはたちまち、時子のからだにいっせいに
とびついた。

足といわず、胸といわず、腹といわず、彼
女の膚に鈴なりにくいついた。

時子はぱっと目をさました。

「ああ、かゆい、かゆい、かゆい……」

たえがたいようにいいながら、寝巻きをぬ
ぎすて、パンティ、もずりおとし、全身をば
りばりとかきはじめた。

ノミのくい跡で、からだじゅうが柔らかく
ふくれあがったうえを、強くかいたのだから
たまらない。そここに血がふきだし、みる
みる朱に染まっていく。

ノミはいったんはかきおとされるが、すぐにまた時子のからだにとびつき、はいのぼつて、みりみりと血を吸いあげる。

「ああ、ひどいノミったら！」

時子はバタバタとドアのほうへ逃げ走る。いそがしくカギをまわすがドアはあかない。彼女の背から尻、もものあたりにかけて、いっばいのノミの群れだ。

「かゆいよオ……かゆいよオ……」

大声でさけびながら、時子はバツタリと身を倒し、畳にからだをこすりつけこすりつけて、のたうちまわる。

汗みどろ血みどろとなって、ノミの責め苦と戦う時子のさまをじっとながめていた日眼は、機会をみて、こんどはカエルをいれた金網ザルの口を換気孔にあてた。

数十匹のカエルが、いっせいに室内に舞いおちた。

そのうちの幾匹かが、時子のからだの上におち、跳躍した。瞬間、

「きーッ！」

たまげるような時子の悲鳴。

なにがこわいといって、世の中にカエルほど無気味でこわいものはないといっている彼女だ。

顔色をかえてさっと立

ちあがり、両手でカエルをふりはらいながら、部屋じゅうを逃げまわる。

カエルのほうも彼女から逃げようとするのだがせまい室の中だから、逃げ場を失ったカエルがときどき、むこうみずに彼女の脚にとびつく。

時子はそれをふりおとそうと、狂ったように両足をバタバタさせて、おどりまわる。

と、そのはずみに、彼女は逃げまどっている一匹のカエルを、ぬるっとふみつぶして、よこざまにぶっ倒れた。

その額の上に、別の一匹がとびついた。

とたん、きーッというような断末魔の絶叫をあげながら、時子は気を失った。

ニューフォトのセクシードレス

お待ちかねの新製品発表!

ビキニパンティと対のブラジャー4種、バタフライアミタイツ、コルセット、花ガーター等

(サービスとして1,000円以上お買上げの方に幸運のマスコットハンカチーフ進呈)

(例一) 左写真

No. 4 マンハント型

和服とチャイナ服との良さを取り入れたデザイン。ウェストまである裾割れからパンティがのぞく。

生地…サテン花模様

ナイロンパンティ付

¥ 2,300 ー 100

(例二) 右写真

ビキニ A

グットくるデザイン。前面三角形にカットされたレース付パンティと対のブラジャー。

生地…サテン赤水玉模様

¥ 1,000 ー 60



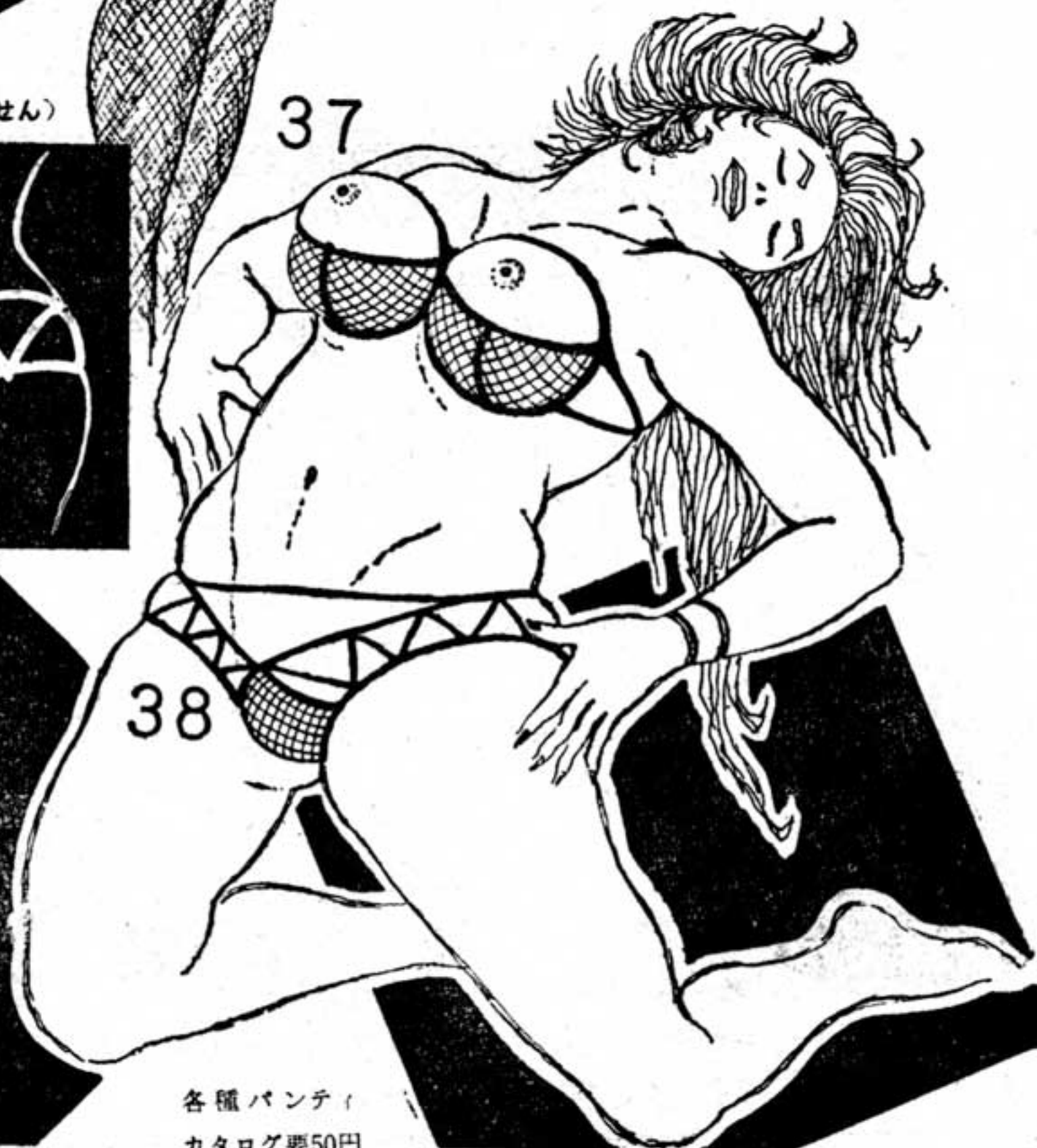
(50円切手同封、雑誌名記入、申込みあれば直ちに各種ドレス、下着類のカラー写真入りカタログ送呈します)

東京都杉並区大宮前 6-412

ニューフォト社洋品部



(一般市販はいたしていません)



俄然人気沸騰!

第1回忽ち売切れ……

只今第2回特別申込受付中

豊満な肉体に、グーッと食い込む太紐! 何の操作もなく、はいた瞬間にグーッと、ブラジャーは乳房に、パンティは下腹部と太腿に思い切り食い込んで、柔肌の魅力が妖しくのた打つ、読者待望の「ネオ・エキサイト・アブ・パンティとブラジャー」。

☆本誌愛読者に限り特別頒布

35・37=ブラジャー 36・38・39
=パンティ (いずれも 黒・赤・白の3色あり) 価送共 各700円
ご注文は品番号に尻まわり寸法を記しご希望色をご指定の上、現金または小為替で、必ず書留便で下記へご送金下さい。

シャープ舞台衣裳通信販売部
東京都世田谷区玉川奥沢町3〜74

by
Sharp

各種パンティ
カタログ要50円

指名手配の凶悪犯

ニューヨーク市警の婦人警官スミス・サリイは、全国に指名手配されている凶悪ギャング「中指のない男」を追って、五番街にあるナイト・クラブ『アリゾナ』に、歌手として化け込んだ。

その日、彼女が歌い終えたとき、「よろしかったら、踊っていただけませんか」と、ひとりの中年紳士がサリイに近づいた。彼女は、いかにも紳士的な男の態度を、微笑で迎えた。

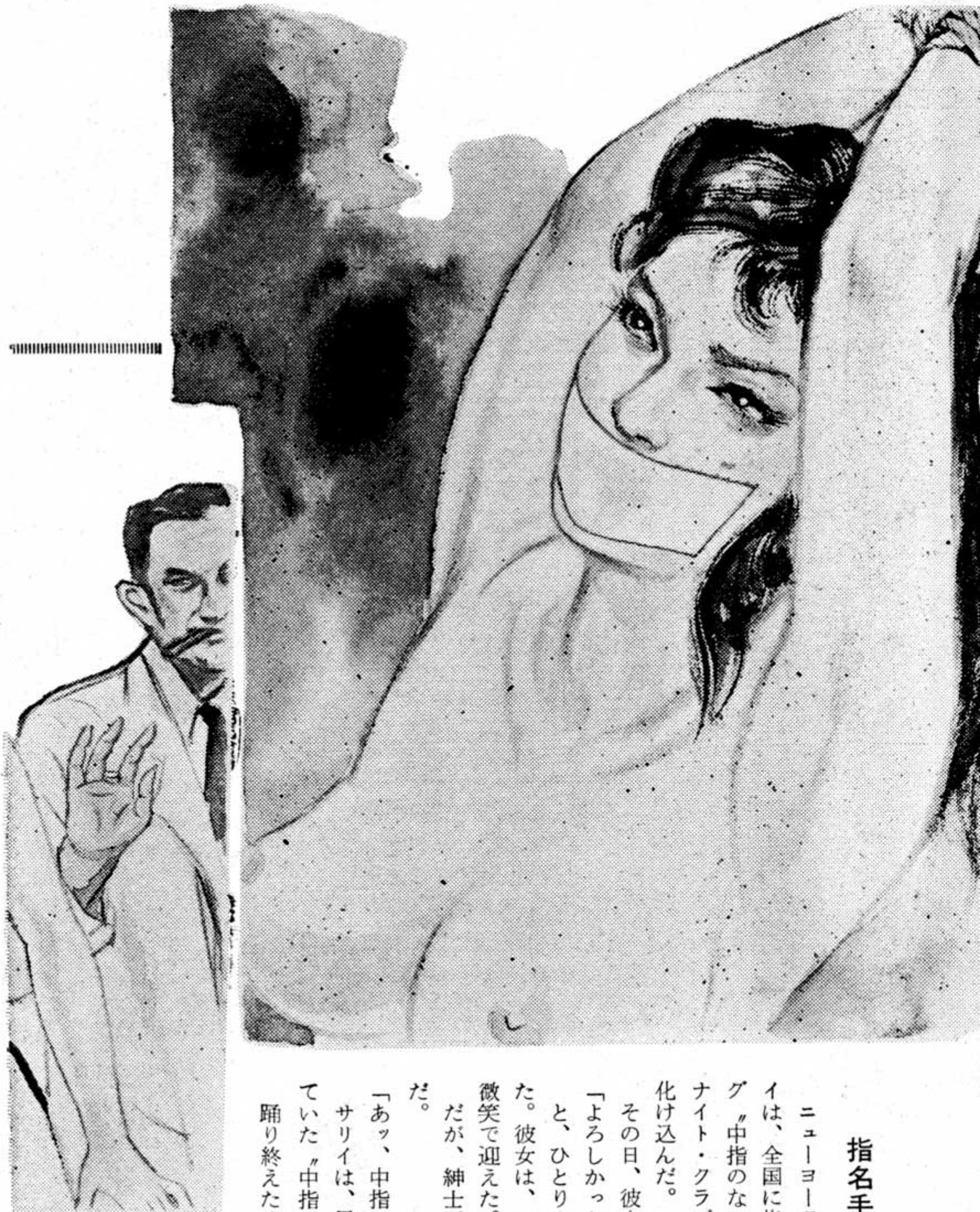
だが、紳士が、サリイの肩に手をかけた時だ。

「あッ、中指のない男！」

サリイは、思わず叫びそうになった。捜していた「中指のない男」だったからだ。

踊り終えたサリイは、トイレに行くと言って階段を駆け上がった。階段を登るとき、ストッキング・ガーターのバンドに取り付けたコルトが、冷たく太ももに感じられた。

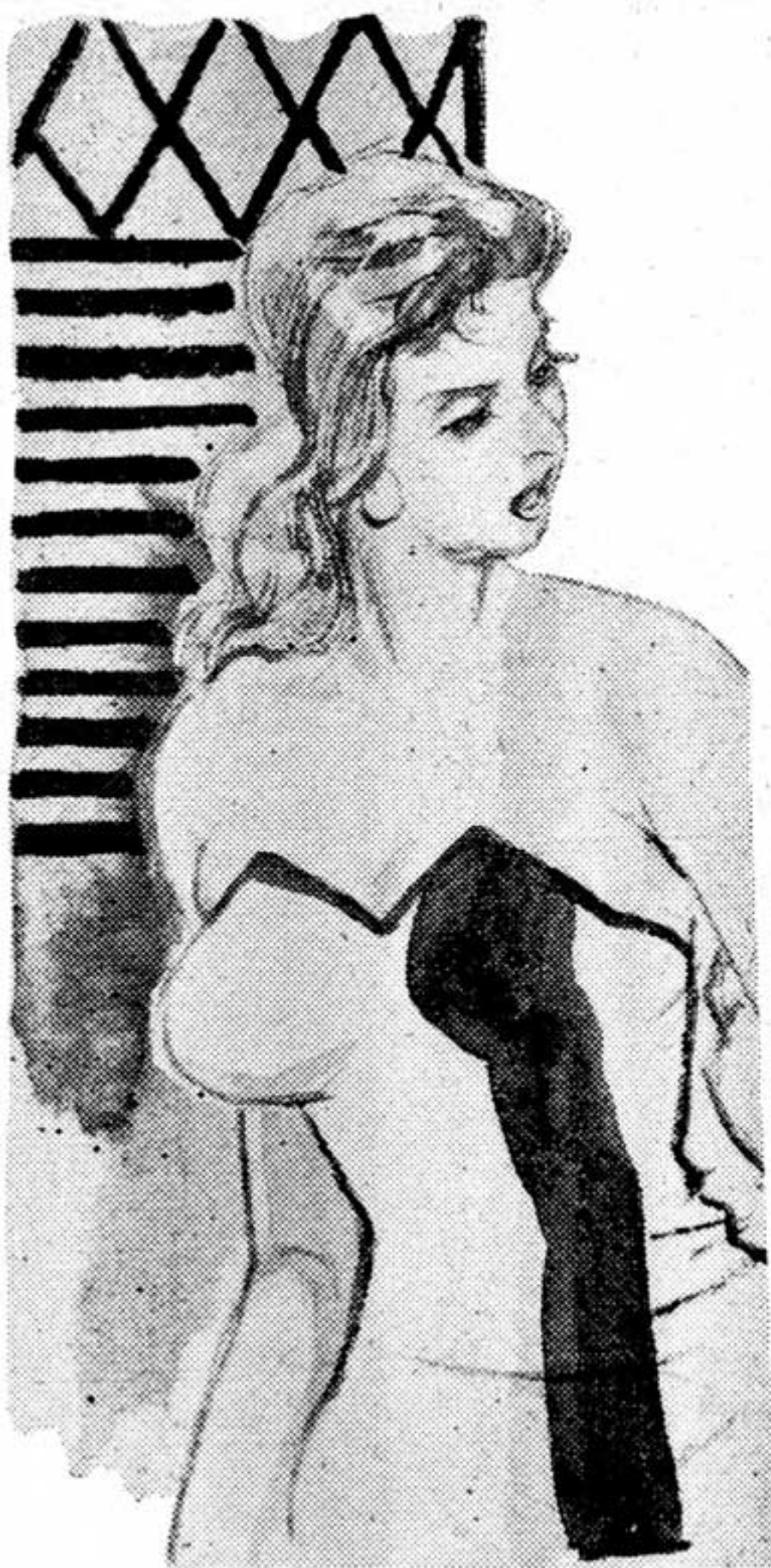
戸外に出たサリイは、あたりを見回した。張り込みの刑



男 不 指 中

生 史 原 榎

え・久 美 馬 江



事をさがすためだった。だが、あいにくのことに、私服の姿は見えない。

「そうだ。早く連絡をとらなければ」

サリイは、口中でつぶやくと、駐車場に走った。彼女は、愛用のフォードに乗ると、いそいでアクセルを踏んだ。車は軽快なエンジンの音を響かせて、走り出した。

サリイの運転する車が五番街を抜け、とある曲がりかどにきた時だった。

「ねえちゃん。オレの言うとおりに運転するんだ」

突然、客席から、ドスのきいた声がした。一瞬、ハッとしたサリイが、背後をふり向く

と、拳銃が突きつけられていた。

「あッ」

サリイの朱唇から、驚愕の聲がもれた。

「そこを右折して止めるんだ」

さらに、男は命令した。サリイが右にハンドルを切り、フォードを停車させた瞬間、彼女の口は白い布地でおおわれた。

息苦しさから、サリイは抵抗した。だが、それも二分とつづかなかった。大きく息をついた彼女は、ジーンと五体にシビレを感じた。布地にはクロロホルムがしみこませてあったのだ。

縛られた裸身

どのくらい時間がたったのか、サリイにもわからなかった。肌に痛みを感じた彼女は、意識をとり戻した。と、

「ハッハッハハ。犬め、目がさめたな。一仕事するとういようか」

男の声に、ハッとしたサリイは、ストッキ

ング・ガータの拳銃に手をやろうとした。がどうしたわけか、手の自由がきかない。

それもそのはず、サリイの両手は、鉄柱に高々と縛られていたのだ。さらに、シュミーズをずり下げられた張りのある乳ぶさには、細いヒモが食い込んでいた。

サリイは、必死に縄目を解こうと、身をもがいた。

その動きで、純白のナイロン・シュミーズが、ハラリ、足もとに落ちた。

「あッ」

パンティーとストッキングという恥ずかしい姿を知った彼女は、羞恥から美しい顔をそむけた。

「ハッハッハッ。いい格好だぜ。ジョー、記念写真をとってやりな。そして、警察へ送っ

てやるんだ」

と、密室の中央で、葉巻をくゆらして、ジョーという若い男に命じたのは、さっき、ナイト・クラブで、サリイと踊っていた紳士「中指のない男」だった。

「あッ、よ、よしてえ……」

サリイは、顔をうずめた。その羞恥の姿態に、こうこうとライトが向けられた。

ジョーという若者が、ライカをサリイに向けた。シャッターが切られた。

サリイは、不自由な下半身をちぢめながら、いくぶんでもカメラからのがれようと、身をよじった。ほとんど連続的に、シャッター音が鳴った。

サリイの羞恥の表情も、アップで写された。

パンティーに手をかけられたときの、絶叫に似た表情もとらえられた。

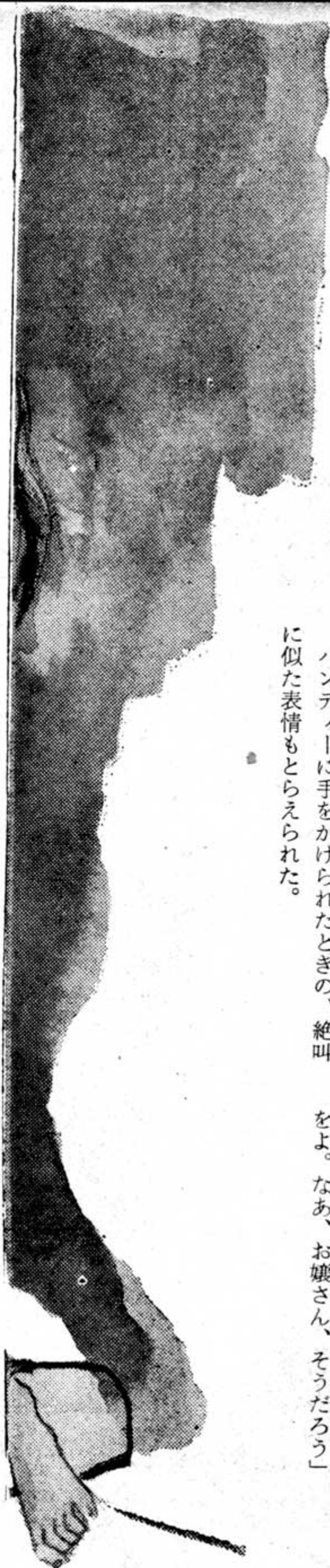
「ジョー、もういいだろう。それだけありゃあ、少しは、いい写真もとれたらうぜ。ところで、サリイとか言ったな。フッフッフ。女のくせに、オレ様を追うとは、いい度胸だ。そのクソ度胸を試してやるぜ。ジョー、用意をしろ」

「中指のない男」が、アゴをしゃくった。ほおに刀キズのあるジョーが、部屋から出て行った。

電気責め

やがて、ジョーが、黒い木箱を重たそうにかかえて戻ってきた。木箱をサリイの前に置いたジョーは、

「あにき、歌をうたうだけに、このアマ、いい声を出すぜ。グッとくるセクシーな甘い声をよ。なあ、お嬢さん、そうだろう」



ジョーは、サリイのアゴに手をかけて、言った。
ニタリと笑いながら、ジョーが箱から取り出したのは、一個のバッテリーだった。



「ねえちゃん。おめえも、オレたちのことを調べに来たからにゃあ、覚悟はできてるだろうな。フッフッフ。バッテリーといって、電気が起こるんだ。これで、おめえに、ストリップをしてみようと思ってるな。楽しいぜ」
サリイは、恐怖におののいた。
「フッフッフ。電気責めとは、ジョー、いい目の保養だぜ。おっと、ねえちゃんのいい声はあとで聞くとして。無言の羞恥ってえのを、見せてもらおうじゃねえか」
「中指のない男」が、薄気味の悪い笑みを浮かべながら、ジョーをうながした。



「OK」

ジョーは、ポケットから、幅の広いパンソウコウをとりだすと、サリイの顔を押えた。
「あッ、よ、よし……う、うううッ」
どうもがこうとも、両手を縛られているサリイは、抵抗するすべもなかった。
サリイの、形のよい朱唇は、ねばつくパンソウコウでふさがれた。
「ジョー。そろそろ始めな」
「中指のない男」が、言って、またアゴをしやくった。
ジョーが、スイッチをひねった。

「う、ううッ、うッ、うう」

ジョーが、スイッチを入れたり、切ったりするにつれて、サリイの、大理石のような裸身が、ピクン、ピクンと上下した。

「あう、うう、うう」

そのたびに、サリイは苦痛にうめいた。だが、口にはられたパンソウコウで、声にならない。まるでカエルに電流を通したときのよう、サリイは、ピクン、ピクン、ピクンと、裸身を伸びちぢみさせた。

「こりゃあ、いいストリップだ。ジョー。おめえが聞きてえっていう、セクシイな歌を聞こうじゃねえか。パンソウコウをとってやりな」

「中指のない男」が、ジョーに命じた。サリイの口からパンソウコウが取り除かれた。

美しいサリイの裸身が、汗でヌメヌメとぬれている。金髪が、ベツトリ額にたれ落ちて

いる。

「ゆ、許して……」

サリイは、男たちに哀願した。「そう簡単に音をあげられちゃ、おもしろくねえや。芝居は、ねえちゃん、これからだぜ。泣きごとは、ゆっくり聞こうじゃねえか。ジョー、始めな」

「中指のない男」の命令で、ジョーがふたたびバッテリーに電流を通した。またしても、サリイの体内に電流が走った。

「うッ、よ、よして……あッ、う、ううッ」

サリイの紅唇から、悲鳴がほとばしった。「フッフッフ。いい表情を見せてくれるじゃねえか。婦警さんを電気責めにできるなんて、オレはツイてるぜ」

「中指のない男」は、サリイの身をくねらせる姿態をながめて、恍惚とした。

「ジョー。もっと踊らせな。その前に、その大切なコルトを、パンティーにぶらさげてやんな」

「中指のない男」が、みだらな視線を、サリイの下半身に向けて言った。

ジョーの手が、パンティーにかかった。

「ヒイッ！」

電流を通されたサリイは、絹を裂くような悲鳴をあげると、グッタリ失神した。

「ハッハッハハ」

「中指のない男」の笑いが、ガラントした密



二人だけが楽しむ大人の絵本？

好き人の筐底に隠された夜の秘密！

秘められた名画と

禁じられた場面集

この場面をマネしないで下さい！

夜のムードにマッチした

新形式の秘蔵画入

〒共 五〇〇円

▼年令明記切手30円封入申込の方にカタログ急送す

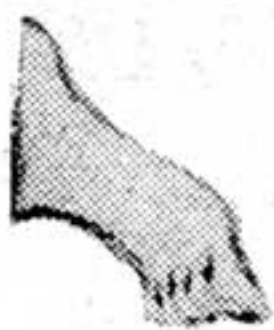
東京都世田谷局二十一号口 福寿会

室に響いた。

乳ぶさを責める

サリイが、正気にかえったとき、無残な自分の姿を意識した。コンクリートの四角い部屋の両側からつき出た鉄の輪に、両手首を縛られていた。両足は、一本の木のよう、太ももで二カ所と足首とを縛られていた。両手をさかさ八の字に開かれた形で、全身の重みをささえる手首が、今にも折れそうだった。

「中指のない男」が、そんなサリイを、コー



ヒ―をすすりながらながめていた。

そこへひとりの男がはいってきた。

「ねえちゃんも、コーヒ―が飲みたいか」

ひとりの男がいった、煮えたぎるコーヒ―をカップについて、サリイに近づいた。

「ほれ、コーヒ―を飲みな」

言ったかと思うと、彼女の、ピラミット型に美しい乳ぶさに、ザブリとかけた。熱いコーヒ―は、敏感な乳ぶさを、たちまち赤く色づかせ、そこから苦痛が、サリイの全身にひろがっていった。

「じゃ、こんどはムチのごちそうだ」

別な男がいうと、壁から一本のムチをとるが早いか、サリイの乳ぶさに打ちおろした。

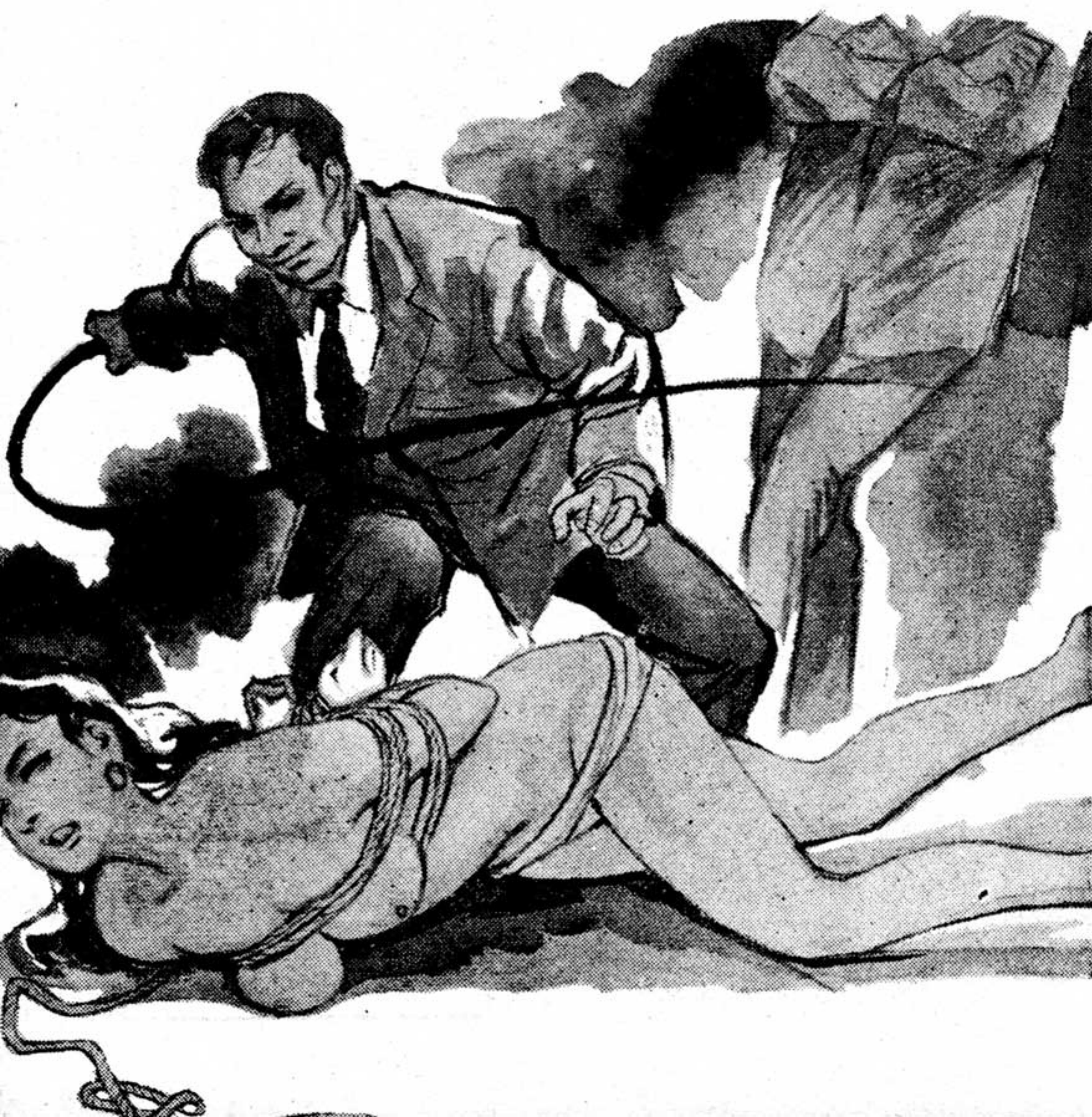
ピシリーッ！

熱いコーヒ―で焼かれた乳ぶさに、それは鋭い打撃となって、サリイの身内ふかくしみとおっていった。

声をたてようにも、口をバンソウコウでふさがれているサリイだ。わずかに身をよじっただけだった。

「じゃ、オレも一つごちそうしなくちゃ」

ヒゲだらけの男が、パチリと飛び出しナイフを開いた。その音を耳にしてサリイは、ふたたびふかいふかい失神に陥ってしまった。



NEO
ワ
ゴ
ー
リ
ン
グ

★
30
分
はもつ!!

◎ワゴリング（併用）の驚くキキメ／



しよグ本因異早
且り(ワで状漏
つ充併ゴす過は
鈍分用ーから敏局
化膨)リらが所
し大にン、原

●米国にもある！
アサヒ芸能三月三十日号トップ記事に「アメリカにも同一の方法があるが総合的に見てワゴリングの方が秀れている」と絶賛されております。

た亀頭冠部が露出し、

★インボも数分でピン
取付けるだけでOK!!

あなたは今、行為前又は途中で萎縮して失敗する事はありませんか？
こんな時はすぐワゴンリングが役立ちます。ただハメるだけでOK！
而も数分で完全硬直し、驚く程頼もしく隆々としてきます。
副作用はありません。

歡喜に湧く愛読者の手紙

一月に御社からワゴリングを送って頂き其の後そのたびごとに大変な喜び様です。私の妻は白人です。此度はラージ増大器と精力増強薬一ヶ月分と、ずゑき一函御送り願います。CANADA
(カナダ) 岸山

◎妻がとても……
勃起力旺盛となり喜んでおります。私は現在56才のため、そろそろ老年期ですがリングを使用しましてから妻にとても喜ばれております。 秋田県 平谷

◎二十年も若返った
真に結構なもの有難く使用しました。小生二十年も若返りました。神戸市 川田



愛用者112,883名(36.3.1調べ)
に及ぶ評判のワゴローリング

ニセモノ注意

最近本社の広告とニセタ広告
が二、三でました。本器はバ
ンドや磁気等と根本的に原理
が違いますので御注意下さい

★短小の心配無用！



●貴方の性器のサイズは何センチ？
●ここに学者の報告を平均した標準サイズを示します。

(平常時のベニスⅡ長さ八・三櫃、周囲七・六櫃)

あなただけの何センチです
か？ モノサシですぐ
計って見て下さい。も
しサイズが不足してい
る人は、一日も早くこ
の方法で、たくましく増
大下さい！

◆ 生れつきの
短小がなぜ
増大するか

あなた、ボディビルをやった人の胸部の

り上りを見ましたか？
やっただ人はスグ判ります。肩の
三角筋の付根や、胸部の筋肉が
もりもり発達しています。
而しこれは不思議でも驚異でも
ない。当り前のことで、医学的に
も極めて容易に実証されています。

◆つまり 局部的に一つの運動を集中的にくり返せば筋肉に慣性が与えられてみるみるその部分が隆々としてくるのです。



着金次第送ります。

（一組）特価
一、四五〇円
（送料当社負担）で
特急発送中です。

◆本器は特殊吸引作用により、使用後は数秒以内、普通の見る見るように膨大し、普通の増大する所の驚くべき効率で、増大する素晴しい発明品です。増大する日も早く増大の喜びを得たい人は、今スグ申込みよ！

●貧弱な性器を強大にする！
ラージ真空増大器
 短期にぐんぐん肥大する
 新原理と
 事実のお知らせ！

ラージ真空増大器

短期にぐぐん肥大する

新原理と

事実のお知らせ！



(新発明のラージ増大器)

◎特許
従来のスキン
外面に一平方
リ約五百個の
粒突起(すべ
り止め)付き
品です。産制
一ダース 三〇〇円
二ダース 五七〇円
三ダース 八三〇円
四ダース 一〇〇〇円

☆粋な
おみやげ
贈物に
大好評！
●特製一函
七五〇円

★快感を2倍にする！

九八〇円

★一雄で百数頭のメスに
どむ！ 驚異のオツトセイ
の寧丸を乾燥、粉碎精製し
た天然ホルモン福寿素の服
用は、若々しいエネルギー
の源泉です。

◎女性の間に
引張りダコ

(1) 湯又は水に浸すとスポンジより感觸がよく、やわらかくなります。

(2) 水を切ると自然に硬くなります。

(3) ヨゴレは石けんできれいになります。(厚生省認可)

好評新発売！
一本五〇〇円

★男女とも一枚た
べて性欲亢進！
媚薬入りの成人
向キョコをお試
しあれ！

▼トーサンピン
チヨコレート
六枚一函
六〇〇円

▼サースモン
チヨコレート
八枚一函
一、二〇〇円

スイキクリーム

（女性用）

◆ただ塗るだけでシビレる！

行為の前にそつとひとぬり：女性の不感症にぬつて効果ズバリ！

チューブ入

三九〇円

スイキクリーム

★避妊と性病
予防に
果百%

▼避妊には女性
の局所にクリー
ムを押出せば、
OK!

▼淋病・梅毒の
予防には男性器
にぬればOK!

(厚生省認可)
一本五〇〇円

◆男も女も見
て喜ぶ秘蔵版
必す
公開！
秘密の花園を破る女
鍵穴の秘密
若い花びら
他巻130円

自動アンマ器

★女性から注文殺到！
 ★お悩みの処にアテるだ
 けで自動的、快テン
 ボでパイプレーターが
 肉体をつらぬく！
 ★女も男も一度アテたら
 やめられぬ無類の快ア
 ンマ器の出現！
 付属品 1,950円
 特価
 ゴム付



一組 11、三五〇円
(個人名で送ります)

贈無
呈代

ハガキで申込次第、総合
力タログ無代進呈中です
(直接御注文の場合は理
金書留か、カワセで)

◆ **ポデビ**
原理で、あなたの素晴しい器を膨大させる。方法があります。方法が真空中増大器。ラージ真空増大器。はあなたのその部分だけ。肥大伸長させるため。専門器具として。特に新しく考案されたものです。

東京杉並区神戸町一二八

株式会社

療養の友社

電話(398)四六七九
振替東京118443

高田馬場より西武線井荻駅下車徒歩約二分
国電荻窪より井荻駅行バス5分、柿の木町降



画報風俗奇譚

〈在庫のお知らせ〉

各号とも在庫が少なくなつてまいりました。お申し込みは、お早めに。現金書留か振替が確実です。

〈36年分〉

画報風俗奇譚・第15集

8月号(一八〇円)

色刷り口絵Ⅱふたり責めⅧ田上恵子・古正英生Ⅴ

グラビア①魅縛縄欲の姿態Ⅱ岩場の縛姿・慕情の姿態・ある受縛のポーズ・クサリでつなぐ・セロファンつつみ・ネグリジェ一枚で・さか立ち足吊り・セーラー服の縛姿・木の股しぼり・女の切腹絵巻Ⅲ他グラビア②男妖の園Ⅱたたまい・野原にひとり・受縛のなかの禪・男ふたり・禪一本のポーズ・ボクは犬だⅢその他責め絵集Ⅱ田上恵子・古正英生SMふたりプレイⅡ西ドイツのエキスポ社提供Ⅲ……男の樂園Ⅲ欧米おとこの画集Ⅲ

画報風俗奇譚・第14集

7月号(一八〇円)

尻打ち5態Ⅱアメリカ写真集Ⅲ女装紳士録Ⅲ……(写真物語)千春という女Ⅲ……(時代絵物語)三日月街道Ⅲ……(男同性)木偶使いⅢ……諸国責めばなし・男責めの巻⑤グエンドリンの降伏Ⅲウイリー(絵物語)人間水族Ⅲ……その他色刷り口絵Ⅱ女責め火と水Ⅲ……グラビア①緊縛競艶悦虐の肌くらべⅡ縄のデュエット・寝巻き乱れて・首をひっぱる・野の縛姿・T字型に・悦悶のポーズ・タヌキしぼり・木馬は痛い・女のレスリングⅢ……はか鎖しぼり②男性悦虐ポーズ集Ⅱ……はだかのポーズ・ふたりし

画報風俗奇譚・第13集

6月号(一八〇円)

ばり・首と足と一緒にⅢ……はか画集Ⅱ男の世界ⅧマックレンⅤ女を責める画集Ⅱしぶき責め・木馬責め・階段の責め・野原の杭にⅢ……はかⅧ古正英生・江馬美久・田上恵子Ⅴルイス・アピラとその作品Ⅲ……(マゾ絵物語)踏んでちょうだい(絵物語)処刑無頼Ⅲ……(絵物語)美少年はオレが頂くぜ(絵物語)ムチをふるう売春婦Ⅲ……(絵物語)江戸城大奥の無残地獄諸国責めばなし・男責めの巻④緊縛協会の奇妙なショウⅢ……ヌートリクス・フォト・ギャラリⅢ……その他色刷り口絵Ⅱ責められる女責める女Ⅷ田上恵子Ⅲ……グラビア①Ⅱ木馬責めの少女・艶美なる切腹・受縛の置き物・つい立て責め・ハシゴしぼり・艶縛のひと・恥ずかしい姿態・緊縛の背面と正面・白い縛魚・縄が呼ぶ陶醉Ⅲ……はかグラビア②男性緊縛悦虐のポーズ集Ⅱ縄と足の加虐・二つの性向・男の魅力・縛られ男・

画報風俗奇譚・第12集

5月号(一八〇円)

足引きの責め・あたしの犬Ⅲ……ルイ・アピラ・シリーズⅡ鞭をもつ女・縛られた女3態Ⅲ……凄艶責め絵4人集Ⅱクサリをまとして・谷川づけ・美しき人間椅子・背中を焼くローソクⅧ田上恵子・古正英生・江馬美久・小田利美Ⅴ妖美な展覧会Ⅱ便器のそばの少女・女騎手ⅧゴダルⅢ……(絵物語)悪魔作家の仕事部屋Ⅲ……(絵物語)復讐される女たちⅢ……(絵物語)お仕置きされる美少女(絵物語)処女タナの成人式Ⅲ……諸国責めばなし・男責めの巻③サド女性に縛られた女装男Ⅲ……楽しきかな足の魅力Ⅲ……その他名彩写真Ⅱ自己陶醉・ふたり愉悦・ひとり燃えてⅢ……グラビア①Ⅱ緊縛二重奏・セーラー服乱れて・制服落花・草はらで・魅縛の白魚・碁盤いじめ・裸の羞恥・杭が背中に痛い・陶醉の寝姿Ⅲ……はかグラビア②妖美の花園に咲く姿態Ⅱ縄の妖美・柱しぼり2態Ⅲ……靴のまま・あたしを愛す・

ふたりしびれ・そり責め…他
 白い肌無残絵Ⅱさかさ縛り・歯
 車責め・油地獄八古正英生・
 江馬美久・田上恵子Ⅴ
 女装紳士録…その他

ヌートリクス画廊…
 (絵物語) 騙れる美少女ドラ…
 (サド絵物語) 黒眼鏡の野獣…
 (時代絵物語) 若武者裸の出陣…
 諸国責めばなし・男責めの巻②
 グエンドリンの降伏と冒険…
 バラダイス・イン・スパンキング
 風変わりな展覧会Ⅱ奴隷市場・
 レスボスの花園・ムチを持つ
 女・男たちを支配する女・サ
 ディストの夢・淫楽殺人ハ藤
 田嗣治・モロオほかⅤその他

画報風俗奇譚・第11集

4月号(一八〇円)

色彩写真Ⅱ野外受縛4態…
 グラビアⅡ石どうろう縛り・蝶
 蝶しぼり・屈辱の姿勢・首吊
 りのポーズ・棒で責める…他
 口絵Ⅱ無残ノ責められる女八態
 (絵物語) アゾンの会の男性征服
 (絵物語) 女子同性愛クラブ…
 (写真物語) ロープと鞭のプレイ
 諸国責めばなし・男責めの巻①
 もう一つの世界Ⅱ女サディスト

・女装コンテスト・女のレス
 リング・処刑の部屋・サド女
 とマゾ男・ホモの恋人…ほか
 女は何を考える?Ⅱロックス・マ
 トウシェックらのアブ名画集
 女装紳士録…その他

画報風俗奇譚・第10集

3月号(一八〇円)

色彩写真Ⅱ艶縛クワルテット…
 グラビアⅡ雪中縛女・残酷な耳
 責め・艶治吊り姿・緊縛立像
 ・浣腸のとき・縛囚のひと・
 おむつの代用・人間風…ほか
 口絵Ⅱ哀艶無残責められる女…
 伊藤晴雨責め写真集…
 (絵物語) 男はあたしのしもべ…
 (絵物語) 天道白蛇教異聞…
 (写真集) 尻打ちの世界…その他

画報風俗奇譚・第9集

2月号(一八〇円)

色彩写真Ⅱ肌もあらわに・制服
 無残・裸姿の緊縛…
 グラビアⅡ女性刑罰史絵巻…
 女体責め悦虐画集…
 アブチックな世界への招待…
 異常な性風俗展覧会…
 (絵物語) 女を責める5態…
 (絵物語) 山小屋のいけにえ…

(写真物語) 深夜の危険なショー
 (絵物語) 皮ハギ小屋…その他
 画報風俗奇譚・第8集

1月号(一八〇円)

色彩写真Ⅱ女体羞姿・縛虐重奏
 グラビアⅡ盛装無残・腹切り悶
 悦・縄とおんな・支那服の縛
 女・縄にもたえる・乳しぼり
 ・禪姿の男・クモしぼり…他
 口絵Ⅱ女体責め絵巻…
 鞭打10のア・ラ・カルト…
 ピグマリオン4態ハバイロスⅤ
 自分を愛すハヘーゲマンⅤ…
 女装マニア・愛されるよろこび
 (絵物語) 縄と鞭に魅入られた女
 (絵物語) 女の責め絵巻…
 女をいじめる5景…その他

画報風俗奇譚4月臨時増刊

緊縛女体150ポーズ・女性責
 め絵巻物集(大判)二八〇円



△35年分▽

画報風俗奇譚・第7集 (一八〇円)

画報風俗奇譚・第6集 (一八〇円)

画報風俗奇譚・第5集 (一八〇円)

画報風俗奇譚・第4集 (一八〇円)

画報風俗奇譚・秘蔵版 (二〇〇円)

画報風俗奇譚・第2集 (一八〇円)

画報風俗奇譚・第1集 (売り切れ)

秘蔵版風俗画報・第2集 (三〇〇円)

秘蔵版風俗画報・第1集(売切)

画報風俗奇譚1月臨時増刊

凄艶女体緊縛写真・責め絵
 悦虐秘画集(大判)二八〇円



『風俗奇譚』在庫のお知らせ

ご注文は現金書留か振替為替がご便利です！

△36年度分▽

▼九月号 (一五〇円)

多色口絵Ⅱ童責めの風早中尉：
グラビア・縛悶のポーズⅡすだ
れの上で・川岸の無残絵・庭
園の縛女・珍妙なハリツケ・
木と六尺禪・男の全裸・ほか
特集Ⅱサド・マゾ・プレイ
痴戯諷狂図………獅々村裕
女の格闘………
浣腸同好会5つのプレイ………
狂熱のSM交響楽………ほか
マゾの女王ベティ・ペイジ………
責め苦の中に昇天した切支丹………
女装マニア銘々伝………
連載小説・炎帝廟(芦立鋭吉)・
悦虐の彷徨(青山三枝吉)………
ソドミアのソドムの意見………
マゾヒストの手紙から(最終回)
(サド小説)盗髪日記抄………ほか
八月号 (一五〇円)
多色口絵Ⅱ白い肌・よごしてや
るんだ………
グラビアⅡ裸身痛まし・海辺の
ふたり緊縛・椅子の残虐・床
の間も責め場・緊縛の表情・
足を責める………ほか
特集Ⅱフェチシズムの人たち

珍奇収集館主人………

わが愛するお尻………
ふんどしマニアの女………
レザーフェチの女たち………
写真・残虐なるサディستن………
ハンブルグの血に狂うインゲボ
ルグ………
あたしはレスボスに命を賭ける
ムチに生きる令嬢………
ほも禁秘帖⑩男色者の異性関係
女装者の告白手記………
浣腸とお灸と縛り………
中世紀の拷問諸刑具のいろいろ
田上恵子女体責め絵画集………
全裸美女の凄艶切腹図絵………
連載小説・炎帝廟・虐殺指令・
悦虐の彷徨………
七月号 (一五〇円)
多色口絵Ⅱ赤いハイヒール………
グラビアⅡ縛悦の姿態・魅虐の
世界・足責めのポーズ・受縛
の白い人魚・女学生サディス
チン・うしろ方形縛り・木馬
上の六尺姿・ポイント白禪
特集Ⅱ責めさいなまれる女と男
お銀母娘しぼり………
乗馬服を着てのプレイ………
夫のお仕置きがうれしい………
女体を責める………

アブの世界のプライバシー………
サロン・マンキスチカ………
悦虐の果てに………
わがいとしき友に………
ほも禁秘帖⑨初会の生態………
マゾヒストの手紙から⑫………
浣腸ふたりプレイの記………
私の好きな被虐の見せ物………
ハイヒールのワンダ………
女装講座・女の肌をつくる………
続・ある完全女装………
イギリス近着フォート………
犬を連れた若奥さん………
白と黒の交感………
連載小説・炎帝廟③・虐殺指令
悦虐の彷徨③………

▼六月号 (一五〇円)

多色口絵Ⅱ美しきいけにえ………
グラビアⅡ妍を競う艶縛姿態集
しごきで縛られて・寝乱れ縛
姿・全裸に縄が・縄の悶悦・
縛られたボリューム・男の縛
りプレイ・六尺と縄の魅惑………
特集Ⅱ女装に陶醉する男たち
ああ女装の夜はふけて………
男性の心の底に眠る女装願望
女装のあたしを誘惑した男………
女装花ひらくとき………
限りない女装へのあこがれ………
私の女装のお師匠さん………
ある完全女装………
マゾヒストの手紙から⑪………
ふたりのマゾヒストの女………
ほも禁秘帖⑧………
女性の残虐なる責め場集………

怪奇人形館の秘密と恐怖………
浣腸のある風景………
豊満な白いお尻の魅力………
女体に加えるウナギ責め………
連載小説・虐殺指令・炎帝廟②
悦虐の彷徨②………

▼五月号 (一五〇円)

多色口絵Ⅱムチをふるう女
グラビアⅡふたり縛り・制服は
嘆く・狼藉の一瞬前・荒縄が
肌を噛む・どうされるのかし
ら？・悦虐の時が来る・首輪
につながれて・縛られた男・
ムチ打つ女………ほか
特集Ⅱ鞭に憑かれた男と女
鞭よ、愛しておくれ………
鞭打の魅惑………
鞭は生きている………
だれも持っている鞭への関心
ムチで鍛えられた女………
あたしの鞭打の獲物………
ムチと皮紐の一夜………
ふくよかな処女の尻に………
愛と復讐と鞭と………
6人の受難の女………
灼熱地獄・冷水地獄・生きて
いる的・ふたりさらし………
ほも禁秘帖⑦狂崇の対象………
同性マゾヒストとの会話………
ヌートリクス画廊………
乗馬マニア9人の女たち………
ヌートリクス・コーナー………
女騎手強制調教所………
あたしは肉体まで女になった………
猫責め地獄………

連載小説・炎帝廟・悦虐の彷徨
▼四月号 (一四〇円)

多色口絵II赤い靴のドミナ
グラビアII太鼓しほり・木にく

くられて・荒小屋を背に・石
の階段は冷たい・古雅の中庭

で・緊縛悶姿………ほか
特集・東西古今刑罰残酷物語………

刑罰にひそむサディズム………
世界残酷の生態………

刑罰と拷問のいろいろ………
江戸封建社会の刑罰………

昔の刑罰は残酷だった………
花井お梅の獄中日記………

尻打ちの世界泰西名画集………
責められる女の姿………

晴雨流女のしほり方・伊藤晴雨
マゾヒストの手紙から⑩………

ほも禁秘帖⑥………
私がマゾニアになったのは………

私のいけにえになった処女………
鞭打浣腸小説・鞭魔ロベール………

▼三月号 (一四〇円)
多色口絵II雪の露台………村上ユキ

グラビアII雪の女・雪にころが
されて・妖艶切腹の凶・制服

椅子責め・裸身ながながと………
特集・マゾヒストの世界………

マゾ小説・でんすけ地獄………
赤禪斬り込み隊………

絵物語・毛皮を着たヴィナス
(告白小説) K氏自虐帳………

妖異の世界………
乳房・尻・頭髪フェチシズム

サディストの使用したムチ………

職業サディストの女………
女体責め画集………

グラインダー地獄・また裂き
変型責め・車責め・納屋の首

吊り・あやつり責め………
江馬美久・田上恵子の傑作画集

ほも禁秘帖⑤妖美なる野郎たち
私の女装告白体験記………

私の女装半生記………ほか
▼二月号 (一四〇円)

多色口絵II縛愁・囚花・制服は
悲しからずや・乳房をかむ縄

ハリツケ縛り・緊縛・拘束の
写真と責め絵画集………

妖美なる女体責め絵集………
三人のソドミア………

鞭打悦虐小説傑作特選集………ほか
▼一月号 (一四〇円)

多色口絵II血を好む大公妃
責め絵特集II空中緊縛ほか………

色刷写真IIふたりプレイ・オン
パレード・レザー・フェチシ

ズムほか………
グラビア・妖美吊り艶姿・ころ

がし責め・ハリツケとさか立
ち・閨怨のポーズほか………

特集・ソドミアとレスボス………
ハ35年度V

▼十二月号 (一四〇円)
特集・伊藤晴雨画写真自選集

多色口絵・野ざらし………
責め絵スケッチ集………

晴雨女体緊縛写真集………
伊藤晴雨さんのプロフィール………

伊藤晴雨さんのプロフィール………

晴雨さんの雪責め………
グラビアII石垣の緊縛裸女・め

しい鳥・石垣の前で・長じゆ
ばんも乱れて………ほか

▼十一月号 (一四〇円)
多色口絵II水地獄………土井啓子

女体責め絵II丸太小屋の惨・岩
場ハリツケ・竹しほり責め………

射撃のマト………ほか
グラビアII艶麗無残・はなやか

な足吊り・犬の首輪のブラジ
ヤー・吊るし責め………ほか

特集・戦争残酷の記録………ほか
▼十月号 (一四〇円)

多色口絵II女体知恵の輪………
色刷写真II美しき囚虜・あかり

も淡く………ほか
グラビアII白衣の佳人・長椅子

と女・白衣も乱れて………
特集・サディストの群れ………ほか

▼九月号 (一四〇円)
多色口絵II空中鞭打………

原色写真II巖頭の裸女・つるさ
れた白魚………

グラビアII落花の景・裸女無残
二人しほり………

特集・女装する男たち………ほか
▼八月号 (一四〇円)

多色口絵II受縛二重奏………
口絵II荒れ小屋の残酷………

グラビアIIスタン드의美女………
特集・レスピアン達の生態………ほか

▼七月号 (一四〇円)
多色口絵II落下図絵………

グラビアII恋慕受縛・姐上の白

魚・肌もあらわに………
▼六月号 (一三〇円) ほか

多色口絵II痛ましき祭壇………
グラビアII樹間のニソフ・密室

の呪縛・足づり裸女………
特集・フェチシズム(淫物症)………

夏の臨時増刊号(一八〇円)
法悦特集五月号(一四〇円)

悦虐特集四月号(売り切れ)
春の臨時増刊号(二〇〇円)

艶妖特集三月号(一四〇円)
創刊臨時特集号(売り切れ)

風俗奇譚8月臨時増刊
サド小説とマゾ読み物特集号



< A 5 判 >

250 円



< B 5 判 >

280 円

風俗奇譚5月臨時増刊
マゾヒストの天国特集号

代理部の分譲写真 一覧

ご注文は略号を明記のうえ
振替か現金書留をご利用な
さるとご便利で確実です！

女体責め悶悦の姿態！

★女囚緊縛ポーズ(略A6)	三枚三〇〇円
★野外縛り(略A7)	三枚三〇〇円
★凄絶切腹六態(略A8)	六枚八〇〇円
★全裸緊縛ポーズ(略A9)	三枚三〇〇円
★臀部責め(略A10)	三枚三〇〇円
★水責め・湯責め(略A11)	三枚三〇〇円
★本格鞭打プレイ(略A12)	三枚三〇〇円
★豊満なる緊縛女体(略C6)	三枚三〇〇円
★海老責め地獄(略C7)	三枚三〇〇円
★眼帯の女(略C8)	三枚三〇〇円
★さるくつわ艶姿(略C9)	三枚三〇〇円
★制服の乙女縛り(略C10)	三枚三〇〇円
★裸女棒しばり(略C11)	三枚三〇〇円
★密室の呪縛(略D6)	三枚三〇〇円
★全裸変形地獄図(略D7)	三枚三〇〇円
★無残二人しばり(略D8)	三枚三〇〇円
★浣腸悦虐フォト(略D10)	三枚三〇〇円
★浣腸陶酔ポーズ(略D11)	三枚三〇〇円
★力つきた処女(略P1)	三枚三〇〇円
★蛇が白肌を(略P2)	三枚三〇〇円



モデル別お好みポーズ集

☆舟木喜代子のBG緊縛

- ▼大の字縛り(略F5) 三枚三〇〇円
- ▼ハダカ男馬のり(略F6) 三枚三〇〇円
- ▼豊艶乳房しばり(略F7) 三枚三〇〇円

☆風早由美子の妖美緊縛

- ▼樹間のニンフ(略H1) 三枚三〇〇円
- ▼嘆きのセーラ服(略H2) 三枚三〇〇円
- ▼死のベルト誘い(略H3) 三枚三〇〇円

☆井神せい子の豊満縛姿

- ▼窓ぎわの残虐(略I1) 三枚三〇〇円

☆村上ユキ特選緊縛フォト

- ▼全裸後ろ手縛り(略M1) 三枚三〇〇円
- ▼お灸灼熱地獄(略M2) 三枚三〇〇円
- ▼本格縛り責三態(略M3) 三枚三〇〇円
- ▼豊麗切腹(略M5) 三枚三〇〇円
- ▼閨房股間縛り(略M6) 三枚三〇〇円
- ▼凄絶雪責め(略M7) 三枚三〇〇円
- ▼古風な緊縛(略M8) 三枚三〇〇円
- ▼椅子の上の無残(略M9) 三枚三〇〇円

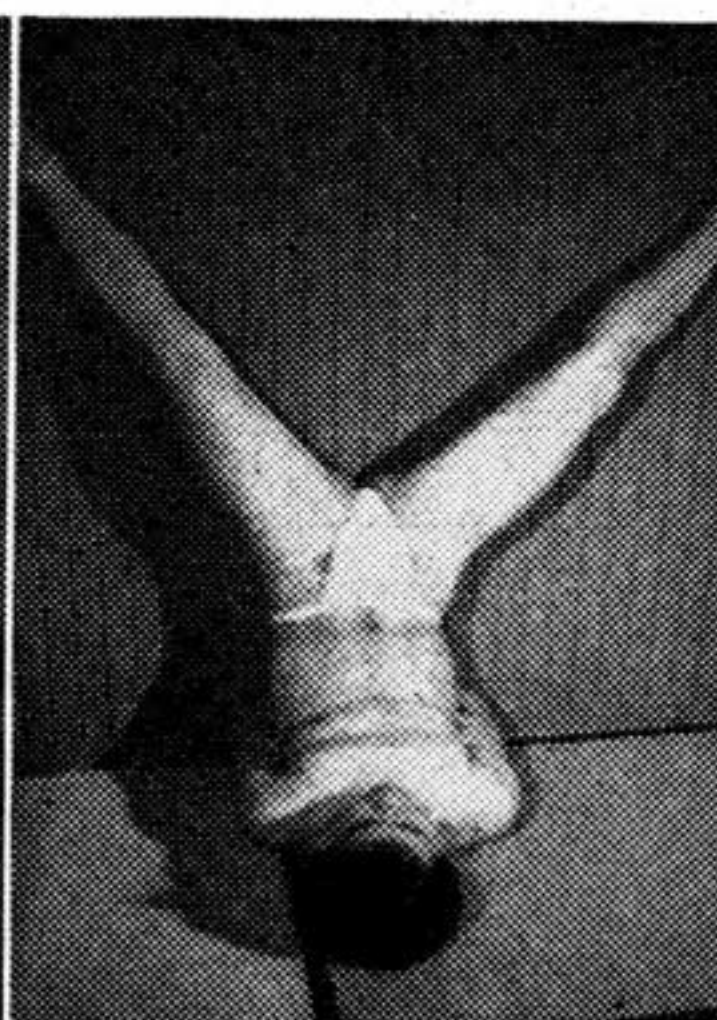
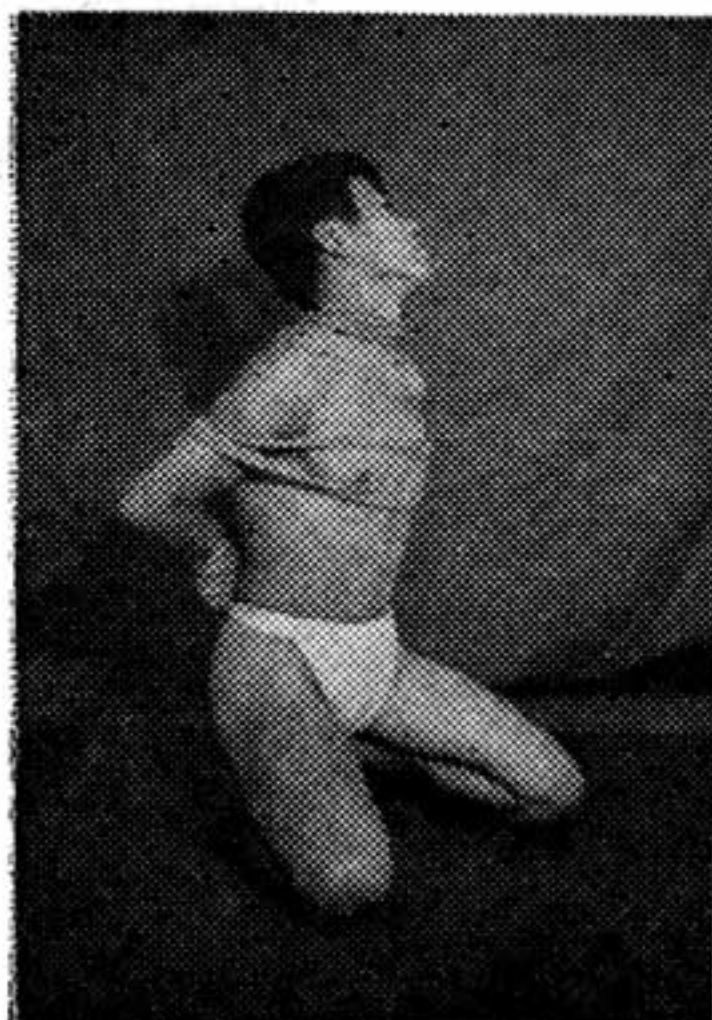
☆西牧えり子の悦虐縛り

- ▼中国服悦虐姿態(略N1) 三枚三〇〇円
- ▼いたぶられ姑娘(略N2) 三枚三〇〇円
- ▼乙女の折り(略N3) 三枚三〇〇円
- ▼全裸いたぶり(略N5) 三枚三〇〇円

本誌独占ノ男性緊縛の魅惑ノ

★迫るローソクの炎(略P3) 三枚三〇〇円
 ★全裸責めの魅惑(略P4) 三枚三〇〇円
 ★晴れ着もあらわに(略P5) 三枚三〇〇円
 ★股裂き三人選(略P6) 三枚三〇〇円
 ★肌くらべ全裸縛り(略Q1) 三枚三〇〇円
 ★花ひらく受縛天国(略Q2) 三枚三〇〇円
 ★血みどろのリンチ(略X8) 五枚五〇〇円
 ★悦虐の表情(略X9) 三枚三〇〇円
 ★本格吊るし責め(略X10) 三枚三〇〇円

☆輝姿二人プレイ(略B18) 三枚三〇〇円
 ☆輝姿一人プレイ(略B19) 三枚三〇〇円
 ☆輝姿ふたりの男(略B20) 三枚三〇〇円
 ☆全裸の男性美(略B21) 三枚三〇〇円
 ☆輝姿一人緊縛(略B22) 三枚三〇〇円
 ☆青竹十字背負い(略B23) 三枚三〇〇円
 ☆輝姿股間ポーズ(略B24) 三枚三〇〇円
 ☆変形縛り責め(略B25) 三枚三〇〇円
 ☆純白の輝姿(略B26) 三枚三〇〇円
 ☆虐げられる輝男(略B27) 三枚三〇〇円
 ☆三角木馬責め(略B28) 三枚三〇〇円
 ☆竹を背負って(略B29) 三枚三〇〇円
 ☆輝姿開脚の図(略B30) 三枚三〇〇円
 ☆全裸の男(略B31) 三枚三〇〇円
 ☆変わり海老責め(略B32) 三枚三〇〇円
 ☆緊縛悦虐境(略B33) 三枚三〇〇円
 ☆踏んづけられて(略B34) 三枚三〇〇円
 ☆男を責める男(略B35) 三枚三〇〇円
 ☆おれのエモノ(略B36) 三枚三〇〇円



▼鼻責め嗜虐(略N6) 三枚三〇〇円
 ▼哀花受難(略N7) 三枚三〇〇円
 ▼制服の少女虐め(略N8) 三枚三〇〇円
 ▼悦虐の園の女(略N9) 三枚三〇〇円
 ▼棒責め立ち姿(略N10) 三枚三〇〇円
 ▼棒責めの伏姿(略N11) 三枚三〇〇円

☆西条さくら豊艶緊縛

▼乳房地獄責め(略S1) 三枚三〇〇円
 ▼腹部への嗜虐(略S2) 三枚三〇〇円
 ▼悶姿の祭壇(略S3) 三枚三〇〇円
 ▼ゴムひもの責め(略S4) 三枚三〇〇円

☆高月まゆみの縛悦姿態

▼砂浜荒縄しぼり(略T5) 三枚三〇〇円
 ▼あばらやの恋縄(略T6) 三枚三〇〇円
 ▼碁盤責め三態(略T7) 三枚三〇〇円
 ▼野外十字架縛り(略T8) 三枚三〇〇円
 ▼犬になった女(略T9) 三枚三〇〇円
 ▼車中の拘束(略T10) 三枚三〇〇円

☆島崎ユカ魅縛のポーズ

▼裸身は嘆く(略U1) 三枚三〇〇円

△サデイスチンのポーズ▽

☆女王様としもべ(略W1) 三枚三〇〇円
 ☆ドミナのムチ(略W2) 三枚三〇〇円

いずれも三枚一組です

読者

の

広場

その道を教えて！

七月号の『画報風奇』を、青山のある書店でぬす見したときから、わたしは貴誌の愛読者になりました。

何も知らない小生は、この本によりいろいろと教えられることはしあわせだと思いました。ぼくは、女性も好きです。でも、男性のフンドシ姿には、いい知れぬ魅力を感じます。南郷さんの『野にひとり』、男ふたり『暗黒の世界で』のフンドシは、息が止まるほどすばらしいです。

それから、愛読者の皆様のなかで、ぼくにその道をお教えたさるかたがありましたら、ぜひ



ひお友だちになりたいと思います。ご返事ください。お待ちいたします。
(東京・山田)

男性のお色気を

小生もフアンの一ひとりとして投稿したいと思えます。

『画報風俗奇譚』8月号のなかで『男ふたり』の作品は、たいへんよいと思いました。でも、もうすこし色気をだしていただきたいと思うのです。

小生もフンドシ愛好者として申しあげたいことは、フンドシ姿をふたりで楽しんでるフンドシがほしいのです。また入れ墨をしている男に白フンドシをしたフンドシを撮っていただきたいのです。これは、たくましい男

の入れ墨姿と白フンドシというコントラストが、いっそうの迫力と魅力をだすことと思うのです。右の案よろしく願ひします。
(東京・加藤一生)

女の禪姿を誌上に

女神狂様。あなたも、わたしと同じような『夢』をもっておられることを知り、敬意を表します。

わたしも、あなた同様、女性のふんどし一つの裸身にあこがれをいだいております。

それもビキニ・スタイルの水着でなく、日本古来の六尺フンドシとか、相撲のマワシにかぎります。

このほかに黒しゅすのフンドシをしめている姐御(あねこの)の姿、または江戸紫のフンドシをしめた芸者、緋ぢりめんや海老茶のふんどしをしめ、相撲をとる女中などの絵図を、貴誌であつかってほしいと思うのです。

また、このような姿の読み物もどしどし掲載していただき、異常美の世界を開拓していただきたいのです。

(大阪・女禪狂)

どなたかご交際を

小生は二十歳の六尺ファンです。

『風俗奇譚』は、まったくすばらしいです。貴誌のあるおかげで、毎日を楽しみすごしております。

Gパンのしたは、いつも六尺フンドシ一本です。その快感はなんともいえません。

また、南郷次郎さんのヌードすてきでした。魅惑されました。ところで、ボク、近くのかたと文通、または交際したいのです。どなたかおいでにならないでしょうか。

(京都市七条局留・白木真次)

ほしい若者の禪姿

一昔前までは、プールや海岸にゆくと、赤フンドシ一本の美少年の姿が見られたものです。が、いまでは海水パンツにおされ、見られなくなりました。

よく高校生などが、裸体で赤フンドシを締めたあの姿。わたしは、尻の割れ目に食い込んだ裸に、強い興奮を覚えるのです。

貴誌でも、できましたら、高校生、あの弾力のある肌を白

フンドシ、または赤フンドシをしめたフォトを、ぜひ、誌上でとりあげていただきたいのです。お願いします。

(東京・田代紀一)

同好の士をさがす

はじめて貴誌に投稿します。マニアです。

いつ見ても男性のフンドシ一本の緊縛姿は、他誌にみることでできない魅力です。こんごもどしどし男性縛りフォトをご掲載ください。

できれば、女性の写真はいい。さいはぶいてももらいたいと思うのです。

それから、これは小生の希望ですが、緊縛に使う縄がいつも同じもののように思うのです。やはり縄は、アサ縄にかぎります。縛りかたも、相手が男性なのです。痛いですから、思いきり縛り、痛い表情がほしいものです。ついでに足も縛れば、いっそう効果があると思うのです。

さて、もうひとつ、別な希望ですが、同性で、フンドシ一本で緊縛するプレイを望むかたはおりませんか。写真ばかりでなく、実際のプレイを行なおうで

はありませんか。同好の士がおりましたら、次の住所にご一報ください。お待ちします。

(浜松市寺島町二五〇、倉田様)

方・上田二郎)

女性ヌードはたくさん

『画報風奇』第15集を拝見しま



＜わたしの描いた絵・中田康男＞

した。実にすばらしいできればえでした。回をかさねるごとに、男性の裸体写真が豊富になることは、マニアとしてうれしいかぎりです。

さて、「男ふたりで」「暗黒の世界で」の南郷次郎氏のたくましい男性美は、圧巻でした。いちど、貴社で、男性ヌードの特集を出版してほしいと思います。もう女性ヌードはたくさんです。男性ヌードで誌面をうめてください。女性は他誌にまかせ、男一色でわれわれマニアを喜ばしていただきたいのです。これは、ぜひお願いします。

(東京・M生)

ほんとプレイを

はじめてお便りいたします。ぼくは二十三歳の大阪男子です。『画報風奇譚』8月号の南郷さんのフォト、実にすてきでした。たまらないほどの魅力です。

これからも、どしどし南郷さんのフォトを掲載願いたいのです。また、男ふたりで縛られてる霧島さんにジェラシーを感じました。

さて、大阪のかたで、ほんと

プレイをしてくださる男性は、おられないでしょうか。もしおいででしたら、思いきり縛られたりしたいと思います。同好の士を捜しております。(大阪・H・Q)

今後多くの読み物を

「F・K」臨増号を拝見、感激でいっぱいです。それは、グラビアの責めフォトといい、読み物といい、いずれも充実しています。

さて、小説ですが、時代物、現代物、告白、体験記など、フンドシをテーマにした妖しい男責めの世界を描いた作品のかずかずは、マニアとしてせつないほどのコーフンをよび起こします。

なかでも、帝政ロシアを舞台にした作品は、男責めプラス、ホモの、大たんな描写が実感をもってせまり、妖しい官能をかきたてる佳作として熟読しました。今後とも、この種の読み物をどしどし掲載してほしいのです。(山形・禪生)

Gパンに魅せられた男

はじめてお便りする三十八歳の男性です。小生は、同性に對

する軽度のSです。ただし、多くの好むタイプは、十七歳から二十四、五歳までの青少年です。タイプは細いストラックスのよく似合うひとです。

頭髪はスポーツ刈り、尻にピッチリ合ったストラックス(とくにGパンなら最高)をはき、シャツはジャンパースタイルといった、ぐれた感じのタイプを好みます。

多くの夢は、このようなスタイルの青少年の下着を脱がし、素肌でGパンをはかせ、縄で縛って責めたいのです。

アイディアとしては、後ろ手に縛りあげ、さらに縄を、Gパンの食い込んだ股間と臀部の割れ目にかけてじゅうぶん締めあげます。いわゆる股間縛りです。こうして縛りこころがした同性を写真にとり、さらにムチや皮ベルトで打ちすえたいのです。もし、このような責めと、Gパンを愛好する青少年のかたがおいででしたら、ぜひお友だちになりたいと思うのです。(東京・Gパン・マニア)

女性に責められる姿を

ぼくは、一年ほど前からの貴

あらゆる角度から「悩み解消の自宅療法を教ゆ」小冊子・楠山栄三著・コンドーム二個・すりもの・希望の方は100円送金・

SEX

◎早く終る・女性がなげく・手軽に治療・五〇〇円送金せられよ・クスリとズバリ・そのものを書く性愛の本・進呈・太く恥づかしくない・立派に育てる療法器・コッソリ使える・カテゴリー無代進呈・性・臭・媚薬・素人でも扱える・副業通信販売・御自由・方法伝受す・一県一店代理店・乞書面

愛慾の炎をもやす……木の実

ガラナ……

酒・ウイスキーなどの「粉末」にしました・ポケット瓶十回分・五〇〇円・特用千円

東京葛飾区本田中原町三五六番

白水荘

(どなたにも個人名で密送)

優生相談室

誌の愛読者です。最近、Mの読み物がふえたことは、たいへんうれしいことです。が、グラビアが、Sに比較して問題にならないのは、なんとなく物足りないです。

できたら、女性にコテンコテンにいじめられる男性の姿を、グラビアと読み物にもっととりいれてほしいのです。お願いします。(富山・西村生)

サポーターをゆずって

このごろよくある『男性特集』とってもすばらしかったです。

ボクは禪ファンですが、モデルさんのしていた黒のサポーターにまいてしまいました。

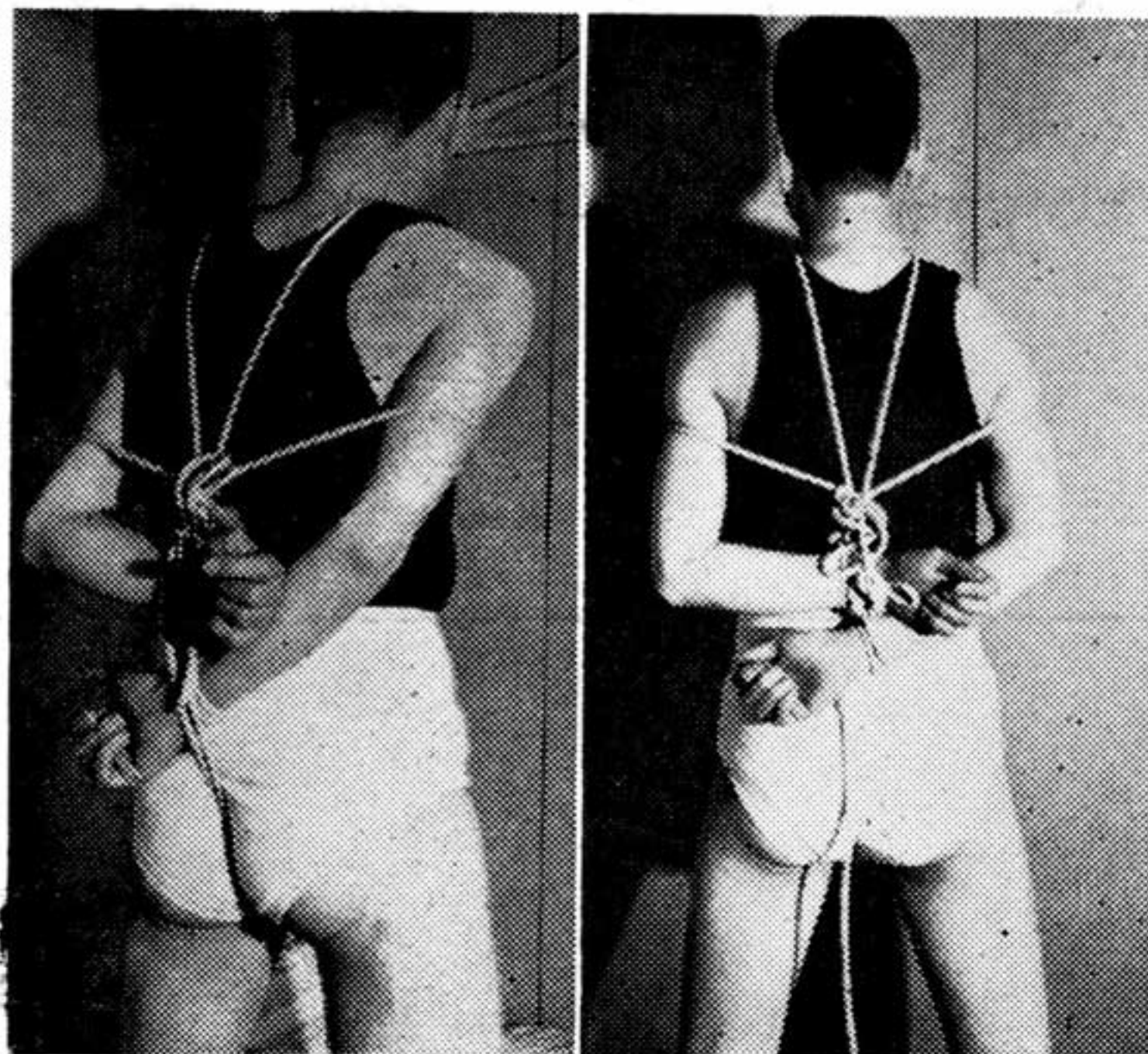
大和さん、ボクにあのサポーターをゆずってくださいませんか。もし、おゆずりくださるのでしたら、お答えを読者の投稿欄にお寄せ願いたいのです。お返事を楽しみにしています。(三重・禪男)

乳房の大きい女性を

緊縛写真も、いささかマンネリ気味のようにです。そこでぜひ、次の案をとりあげ、新鮮味

をだしていただきたいのです。
① 貴誌広告のネオ・エキサイト・アブ・ブラジャー35と37を着用した女性を豊富に載せるとおもしろいと思う。
モデルは西条さくら、舟木喜代子嬢など、なるべく乳房の大

きいひとを使うこと。また、つごうにより、シャープ舞台衣裳の製品が使えない場合は、乳首の周囲約四センチをまるくくり抜いた穴あきブラジャーを使うこと。
なお、このさい、乳首とその



男の縛り写真

<東京・大山昭治>

周囲はくびれて突き出るようにし、その部分を別のヒモ、またはタコ糸で縛ればよい。
② 女同士の乳もみ、乳ひねり、乳しばり責めを連続写真にすること。
以上の案をぜひ貴誌でとりあげていただきたい。
(栃木・安塚生)

俳優のふんどし姿も
『画報風俗奇譚』7月号を書店で発見、はじめてこのような本があることを知り、たいへん興味深く、毎日ながめています。
とくに男性悦虐ポーズには魅せられました。が、モデルの緊縛による苦悶とか苦痛の表情が欠けていることが残念です。
もっと縄や鎖が肉体にくい込んでいたら、迫力のあるフォトができるのではないのでしょうか。
また、男性モデルも、できたら十七、八歳ぐらいの若々しい肉体を発表していただきたいものです。そしてロイド・スチール筆の「ギリシャ少年のボクシング」というさ

し絵のような写真が掲載されることを望みます。
それから渾姿なのですが、東宝映画『潮騒』における久保明の渾姿をグラビアにしたいのです。お願いします。
(東京・魅せられた男)

奴隸としての飼育を

小生、貴誌の愛読者のひとりです。

ぼくは、「マゾヒスト」です。それだけに、『風俗奇譚』のマゾ男性対サド女性のプレイ写真および小説を毎号感激して拝見し

慢性淋疾短期根治

元東京中野病院外科部長 上谷文一著

★新薬盲信の害即ち慢性淋疾の本態尿道側管淋の病理を明らかにし側管壁に生成される防壁の為薬剤は菌に到達不能となり根治至難再発する理由★現行全療法の慢性淋根治至難の理由★難治淋を一回淋糸消滅十日以内絶対根治の合理的無痛無害直接殺菌の一方法説明★全国根治患者礼状集

価送料共百円

発行 東京都中野区宮園通り四の五

上谷外科医院

発売 東京都中野駅前20番地(南口大

通百米左側) 宮園書店

つきましては、サド女性のか

（北海道釧路市貝塚一二坂本方
菊地利夫）

貴誌の画報8月号のすばらし

ました。

女性のモデルさんが長じゆば

次号から、小生の案が貴誌でとりいれられることを楽しみにしています。(岩手・福島生)

南郷さんに一筆。

をします。

○八大和莊内桜井吉治)

目で見るものというものは、

かしさがある。

ぬせいと自戒している。

冊の雑誌の場合は、そうかた

願
い
し
た
い。

批判をお寄せください。

風俗奇譚（各送料とも）

画報・風俗奇譚（各送料とも）

画報・風俗奇譚（各送料とも）

一力年(十二冊) 二一六〇円

じめご了承ください。

九月号 定価一八〇円

昭和三十六年九月十五日発行

編集人 高倉 一

印刷所 刊行会印刷部

東京都千代田区神田神保町一ノ三五

発行所 文献資料刊行会

電話東京(291)二四三〇番

電話東京(291)二四三〇番